京城日報

(朝夕刊合せて十二頁)

本紙 ... 一ヶ月 ... 郵稅代用一割增
京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 泥谷良次郎 印刷人 小川三之介
電話光化門 ... 番 振替京城三〇〇番

我が國民の試錬

東京商業會議所會頭 藤山雷太

私は昨年の春三月から十月にかけて半箇年以上海外各地を旅行し亞米利加からイギリスに渡り更に歐洲各地を經、印度洋を渡つて歸朝致しました。丁度此の前大正元年に西伯利から露西亞に入りスカンヂナビヤから英吉利に至り、大西洋を經てアメリカに參りましたのと正反對の行程を取りましたが、十箇年餘りを經た今日歐米各國の進歩發達は實に非常なものであると思はれます。此の十箇年の間に歐洲の國々は世界大戰の慘禍に罹り地方の兵火災による慘害以上に大なる慘禍を蒙りましたに拘らず着々として經濟戰後の經營に邁進し其恢復に努め更に一段の進歩を示して居るのは實に驚嘆すべきものであると謂はねばなりませぬ。

更に轉じてアメリカを見ますると、桑港では今から十七年前に大震災がありまして殆ど灰燼に歸しましたが其の被害があつたのでありましたが私が大正元年に參つた時は丁度震災後五箇年目でいはゆる復興の最中でありまして建築物等も未だ不完全であるを免れなかつたが十年後の今日の實際を見ますると、全市は悉く美麗なる建築物にて飾られ道路は四通八達し、都市に必要なる諸般の施設は全く完全して餘すところがないと云ふ狀態にあります。桑港の最近の進歩は實にかくの如くでありますが、桑港の所在地たるカルフォルニア州に近年の進歩は驚くべきものがありまして、全州の開鑿以來僅に八十年に過ぎぬのでありますが其間にシャトル、ローサンゼルスの如き世界有數の都邑が發達して、アメリカの文化を誇つて居ります、ローサンゼルスの如きは氣候が非常によろしい所である上に無盡藏の天然資源に富んで居りましてアメリカのパラダイスと稱せられて居ります。

これに反し日本は元來が天惠に乏しく國富に至つても低い程度のものでありましたが幸か不幸か世界の大戰に參加するやうになつて急激に二十餘億の國富を增加したのであります。國家の都合なところへ此巨額の富を得たことは甚だ結構な事でありましたが其結果として一方には國民の間に成金氣分が漲り國民として生じまして精神的に非常な弛緩を生じたと云ふことは爭ふべからざる事實であります。此の精神的の損失が可なり大なるものであつた上に這次の震災には僅か二三分の間の天變によつて我々が維新以來非常なる努力を以て蓄積して來た國富の大多數を焦土に委したことは返す〳〵も遺憾な次第であります。併しながら以上の慘禍を蒙つた歐洲の各國でも同樣な狀態で戰爭の被害を蒙つたアメリカでも不屈不撓の精神を以て戰後の經營に努めた結果は今日何れも物の見事に立派な恢復を遂げて居ります。

由來我國民の間には維新以來五十年の進歩は驚くべきものであると信じて居りましたが實際歐米の最近の進歩を見ますると物質的にも精神的にもより以上の發達を遂げて居る光景に驚かずには居られません。吾々も今回のやうな大災に遭遇しまして、日本は從來の遣方の如きでは世界の進歩に遅れるものと思はなければなりません。識者の間に於ては此の天災は實に我々國民に與へられた一つの大なる試練であります。日本國民が堅くしてこれに耐へ得られるか否かは懸つて我々國民の覺悟如何にあると信じます。七千萬國民が悉く此の恢復の精神に甦つた時此の一大天災は却て一大福祉の基となるべきであります。

震災が生んだ精神病と神經病(中)

九大精神科醫學博士 諸岡存

次に又變態依妄想と評つて狐狸や神佛ののりうつゝたと思つて居る妄想狂がある。お腹の中にキリストの塊があるとか、教育のない地位の低い婦人などは稻荷樣や狐が憑いて居る、外國では犬やその他のものが憑いて居る、近頃は又テレパシイ(テレ即ち遠方パシイ心)と評つて遠方の心を聞く事が出來るものがある。日本から米國へ心を飛び出すなどいふのである。昔では、グラットストーンを信仰した精神研究家で研究したものにした、內に此テレパシイがある。昔では精神病者も磁石がついたといつたが、今では、無線電信がかゝつて來たなどいふやうになつた。精神病者のかたまつたものに又偏執狂=即ち偏執性精神病といふのがある。『ヒネクレて執着してはなれない』のである。方丈記に『佛の道の要諦は物に執着するな』とある。思想などはどこかにくつついて離れぬものである。離すことの出來るものはよいが離れぬと偏執狂者である。宗教家の開祖などは往々此種の人がある。何々自家の說が崩れぬ。東京の建物がコンクリートであつたものは燃の柱がくつゝいて中々離れず、その際に焼け付いて仕舞つたので取かたづけに困らぬか流石に偏執狂にかゝつて居るものは仲々考へ込んで居る思想がコンクリートで固められて離れない。が併し何時それがひゞが入るか何時こはれるか知れない。油斷して居ると此狂人から何時殺されるか知れない。東京の現時の焼け殘つた建物は此病氣にかゝつて居る。此の病氣に罹つて居るものはロシヤや獨逸の現狀のやうに、どんな目にあつても間違つた考へが直らぬ。獄屋に入れられても、教育されても殺されても直らぬ。之を偏執狂といふのである。之は先づその言ふ處の理論は整然として居て組立はよいが、論理の基礎工事が間違つて居る。今一つヒドイものになると幻覺性精神病といふのがある。前のを半崩れの家でありとするならこれは獨逸の國家のやうに壞れて仕舞つて居るもので、精神病の內で最も恐ろしいものである。それは幻覺性であるから、見えないものが見える。何もない處にお化けが出て來る。その人丈けに聽えるお化けが出て來る。東京では大杉夫婦のお化けが出て來る。殺された人が出て來る。子供は居らぬかなど言つて出たなどいつて居る之は皆幻覺性の精神病である。又ヒステリーといふのがある。之は夢中に人の言葉を信ずる病氣である。よい人だと信ずれば何でもその人の言葉はよくなる暗示力がによつて仕舞ふ。之はヒステリーには著しい人の言ふ通りになつて幽靈に合せてやると言ふ人がある。又死んだ親に合せてやると言ふ人がある。とその人の言葉を信じて本當に死んだ親や死んだ親類に逢ふたつもりになる。

支那論(二)

(ラウンド、テーブル誌摘譯)

彼等は云ふ、西洋の進歩は器械の進歩である、而も機械や科學の進歩は決して人類の幸福を增進するものでないと。蓋し支那人は動よりも靜をとり進むことよりも止まつて樂しむことを貴び慾望を滿たすことよりも慾望を減ずることのうちに幸福を發見する點から勞働することが、性の適するところで、富のみを追ふことは悪なりと信じて居る、論中には居住地に入り込んで、西洋風の積極的生活をなすものもあるがそれは少數であつて又支那人本來の生活ではない。

試みに支那の現狀を見るに、中央政府は無力であり、財政は紊亂し、貿易は振はず、交通は開けない、國家は下落し、增加するものは借款ばかりである、而して內に於て絶えず動搖を續けて居る、併しながら之等行政機關の不備や各地の紛擾は單に表面に止まるものであつて、支那人の生活はそれに頓着なく動いて行く、中央政府が顚倒れようと、借款がどれだけ嵩まうと、農民はそれに無關心で畑を耕し、商人も中央政府の必要を感じない、唯以前に比して一つの異るところは次の點である、即ち四千年間の支那は人民の寄合世帶であつたが、今日の支那は外部の壓迫を受けて正に一つの國民たらんとして居ることである。

前世紀に於て東西の列強は欲せざる支那をして無理に國を開かせた、而も支那人は依然として外國人を夷狄として取扱つて居た、その結果彼我の間に各種の行き違ひを生じ、西洋人は遂に二回の戰爭によつて自己の威力を示すことゝなつた、而して支那から多くの特權を得た、その中の主なるものは治外法權と低率な關稅とである。支那人は無論之を喜ばなかつたが外國人の數が少く、そして立派な商人の多かつた間は、別に嫌な態も見せなかつた、その後支那へ入り込む外國人が增加し、それ等の間にいかがはしい人物が多くなるにつけ、流石の支那人も我慢が出切れなくなり、次第に排外の氣勢を高め、またそれが一つの動機となつて國民的自覺を促すに至つたのである。

創作 秘密(二)

中村星湖

なほ又かの女としては、最初の諒解に破れた經驗から、もの總ての緻密などは出來さうもないと諦めて、ひたすらに藝術方面での精進を心掛けてゐたのだつたが、かれとかういふ關係になつて見るとそれを今更に過つた事だとも悲しい事だとも思はなかつた。之が、新聞などに大見出しで出されて、一時にパット世間に知れて、引いてはあひ手の家庭に波瀾を起すやうにならうとも、かれやかの女が在來の將子である家庭に當られて、世間の有識無識から姦夫姦婦と罵られようとも、どちらも藝術家であるといふ所で一部の人々からは大目に見られる處ではなく、寧ろ同情なり同感なりを持たれて、その爲めに却て彼等の名聲が高まり崇拜者が增すといふやうな結果にならないとも限らないとさへかの女は考へた。かの女は、島村抱月と同棲した松井須磨子や、有島武郎と同棲した波多野秋子や、龍泉寺房江や、又は辻潤を捨て大杉榮に走つた伊藤野枝などを新しい時代の女と思ふと同じ程度に、かの女自身を新しい時代の女だと思つてゐた少くとも彼女等と同じ方向に向つてゐたのだとかの女自ら信じてゐた。それだのにかの女がひどく世間を恐れるやうになつたのは、無論後の戀愛や氣持の變化にも依るのであらうが、主として愛野氏の妙に臆病な性格に化せられた爲めらしかつた。

『この事は隱せるだけ世間から隱してくれなくては困る。さもなくて誰か意地のわるい奴に嗅ぎ出されでもすると、(現に君と同じ社に勤めてゐた或男は僕等が一緒に歩いてゐる後を跟けた事があるのだから)僕の社會的の地位も、從つて僕の藝術家としての名聲も危くなる。金は出來るだけ出して、君に不自由はさせない積りだから、身二つになるまでは、どうか知つた人に氣付かれないやうにしてほしい。產み落した上はまたいくらも方法はある。そして、たとへ、君の姙娠が人に解つても、僕との關係だけは是非とも秘密にして置いてもらひたい』

かれが最初、哀願するやうにしてかの女に言つた此言葉は、かの女には何だか物足らない物ではあつたが、この人として無理もない頼みだと、あひ手の臆病に同情するともなしにスッカリ軟化してしまつたのであつた。

◇萬病治療の◇
新職業!!
電氣治療法教授
開業二ヶ月間で自宅開業出來る 大阪下成功者續出 此技術を 如く投の望ひなし 男女何人にも教授す 希望者はハガキで申込め 規定書進呈す
東京牛込區新小川町 東京電氣治療研究所

株券無効公告

一、當銀行株式 ... 右株券盗難燒失セシ旨届出アリタルニ付本公告ノ日ヨリ向フ一箇月以內ニ故障ノ申出ナキトキハ之ヲ無効トス
大正十三年一月十七日
株式會社朝鮮殖産銀行

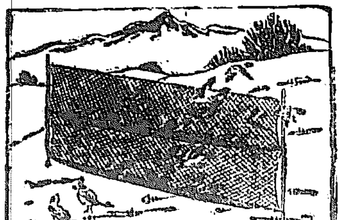
第四回決算公告
(大正十二年十二月卅一日現在)
貸借對照表
東洋塗料株式會社

最新刊
最期の東京 一、七〇
災禍の上に 一、六〇
新珠 一、七〇
お名の話 一、九〇
英語發音と綴りの知識と練習 加茂正一著 一、六〇
世界は日本の震災を如何に見たか 世界思潮研究會
大阪屋號書店 電話本局二〇八

賣れる賣れたる大增刷
正雪の最期 (キラリ閃く白刃の下は地獄か極樂)
會津の小鐵 (俺も殺せと大道に素つ裸)
女賊お蝶 (貴婦人、藝妓と千變萬化)
巽秘錄 (狂刀の大男妖婦の宅に拔く)
人間料理 (豪傑も變態性慾者である所以)
熱血俠氣 武勇十八番
明治 佃の白浪 (奴ツ！捕へてと近づくが)
異聞 荒木の面影 (鬼ッ子スイと押へて耳に)
俳僧 (湿む眼に我が師の夜寒哉白首?)
怪僧飛龍 (平にコロリ突く大男を片)
滿洲奇談 四淫の都 (女夫風呂の一室に映る二つの影)
美談お定の悔悟
淚の事犯親子
怨みの銘刀
片平屋の由來
盗賊の初め
茶話問答
新東京漫畫
夫婦相持し
春の正月
素人駕籠
新東京夢物語
男妾志望者
小僧の按摩
辰巳の辻占
浮世さまく
蒙御免

人情倶樂部

仇 女 獣 お須磨 情 が ?
吉凶の球史
天下の三變人
女優ナナ
戀愛巢
賣捌 全國書店
人情倶樂部


カスミ網
捕鳥用無上の好網
捕鳥の時季は今です カスミ網は小鳥でも取れます 一時に數羽位は容易に捕れます
朝鮮京城本町 吉備商會 電話本局三二六番

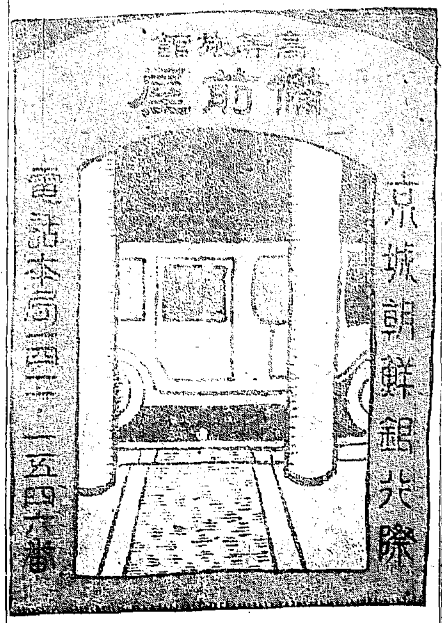
果樹苗木販賣
說明定價表無料進呈
岡山縣赤磐郡可眞村 園主 小林

世界的大發明
於朝鮮樂器界元祖 勢山正俊
小形ピアノ
第一回第二回賣出品は大好評全部賣切れました
第三回賣出品は大正十三年一月十三日より御申込順により御屆致します
定價 金百三十圓 荷造費 金五圓
寸法 高二尺五寸 巾二尺五寸三分 重量 八貫九百目
(偽物御注意) 本舗直輸入元 京城鐘路大通り(鍾路警察署前) セヤマ洋樂器店
電話光化門193番 振替京城1075番

絶對確實 年三割以上利殖
十圓から投資家御利子每月末確其上優券の樂を樂しみながら利殖が出來る ハガキ申込次第投資案內送呈
大阪市北區阿波堀通り一丁目五十三番地 振替大阪六八七四三番 電話新町八〇五番
第一相互組合

內外科 岩田病院

家庭用消毒劑 デクロン
本舗 東華洋行 京城花園町



ウオタマン萬年筆
京城本町一丁目 眞繼商店

刻下必備の寶典
改正 朝鮮民刑事令 附 戶籍令其他關係法令
野村調太郎先生監修 ポケット形 定價八十錢 送料十一錢
巧妙なる編纂法に成れる本書は立憲治下に於ける官民の寶典として絶大の好評を博しつゝあり、本書は實に野村先生の新案に成れるものにして內容の正確にして充實豐富なるは蓋し匹儔を見ざるものとす。今や新法令施行に際し敢て大方の御購買を仰ぐ。
發行所 京城鐘路 大阪屋號

新築落成
勉強旅館 朝陽館 館主 上野茂代
從前通り營業開始仕居候間倍舊御引立の程願上候
大正十二年十二月

超デーゼル小型發動機
出張所 京城府...

京日案內
公債 及び賜金保管通帳有價證券高價買入れ 京城府古市町 江州屋本店 電話本局六九一番
募集 女髪結生徒募集 三ヶ月速成
古本 賣買 文光堂書店
電話 格安讓り
毛皮 並になめし仕立 京城本町二
電話
觀相 不淨子先生直傳
ほねつぎ
求給 仕年齡十六歲位內地人男子
料亭
貸宅
貸家
擴張
電話
社員 募集
廣告特別

[illegible]

露國は承認できぬ
ロッヂ氏熾んにヒューズ氏を攻撃

【華盛頓八日發電】米國元老院外交委員會委員長ロッヂ氏は元老院に於て演說し露國承認問題に就て米國に於て有害の宣傳をなしたと云ふ米國共產黨を擁護するヒューズ氏の非難を支持し共產主義的宣傳の危險等を大に指摘すべきとて激越に攻撃した而して勞農露國を承認するは社會組織の根本を覆さんとする露國を傾擲せんとする人民を承認することを意味するから不可であると斷言した

墨西哥叛軍の妨害
政府軍の武器輸入路を遮斷

【エルパソ八日發電】メキシコ叛軍は米國より來る武器彈藥が大統領オブレゴン氏の軍隊に達する事を妨害する爲めメキシコ中央鐵道の本線を遮斷したと報ぜらる　又叛軍は長官を毀殺し聯邦軍の將官三名を射殺したと報ぜらる

叛軍に武器は提供されぬ

【華盛頓八日發電】墨西哥叛軍は米國より武器彈藥を購入せんと試みて居るが米國國務長官はニウオリンスにある墨西哥叛軍代表者に對し墨西哥に武器輸出を禁止する條項はないが併し右輸出は米國國務省の方針に反するから承諾する事は出來ぬと通告した

支那の新國會
新舊混合の珍妙なものが生れよう

【北京八日發電】來る四月に議會議員の改選の事は民國十年度議員より選出で元日に出た改選の總統令を取消せと主張し各省も亦之に贊成せるあり結局新舊混合の珍妙なる新國會を現出するであらう

支離滅裂の獨逸 (二)
エス、ケー生

内閣の成立は今や各派の大聯合から獨裁政治へ移るの形勢を示してゐる。ストーレーゼマン内閣は同氏の屬する國民黨を始めとし加特利で保守的な中央黨や理論好きの自由民主黨や社會民主黨までを網羅し、昔獨西のエンケルと一派の共產黨とを除外するのみであつた一九一九年ワイマルの憲法發布以來、政治の動搖に疲れ切つた國民は旅の如くにして政治の安定を期待したのであつた、而も獨逸の紛糾した狀勢は各派聯合のストーレーゼマン内閣を以てして問題の解決を不可能ならしめストーレーゼマンは組閣後間もなく辭職した。ストーレーゼマン内閣の倒壞は尤も重要な外務大臣の椅子に社會黨のヒルフアデングである。

クノーの前任者であるウイルト博士の、職業政策は次の如きものであつた、即ち實際支拂なくなる迄、無理な手段をして支拂せ繼から賠償を認めてもらふと云ふのであつた。

ヘルフエリツヒが居た戰爭中各國與へたのであるが、その際後には其の執つた財政政策が二つある、増税及新税によつて財源を造るものがその一つであつて、公債によるものがその二である、前者は苦しい思ひをしなければならぬ、當座は樂である、前者は英の執つた政策で、獨逸は後者を選んだ而して後者は後になつて苦しいが、

ヘルフエリツヒにも理窟はあつた、臨時的な戰費を公債に求むるの非なるは、彼自身も知つて居る、併しながら國民の大多數は勝てば戰爭に疲れた色を示さうとしてゐる、戰況を挽回したら、それを機會に戰爭繼續反對の氣勢が揚るかも知れぬ、ヘ氏はそれを避けんが爲めに租稅政策を捨て公債政策に走つた、ヘルフエリツヒから云へば最後の勝利は獨逸のものと決つて居る、而して獨逸が勝ちさへすれば、英佛から賠償金が流れ込むから、内債が今に於て少しくらゐ嵩むことは意とするに足らない、ヘルフエリツヒはさう考へて公債又公債を發行し、戰爭の終りに於いて、其額都んで九百億に達した、そして獨逸は大敗北をなし、他より賠償を取るどころか、反つて他に向つて一千億と云ふ賠償を支拂はねばならなくなつた、而して獨逸戰後の財政は殆ど收拾の途なきに至つたのである。

クノーの前任者であるウイルト博士の職業政策は次の如きものであつた即ち實際支拂なくなるまでの賠償を認めてもらふと云ふのであつた、此の無理な手段をして支拂せる爲め獨逸の政治的經濟的紛擾は最も甚大なる原因はクノー内閣のフジダラである。

ラテナウと一所に暗殺されたかも知れぬ内閣を投出して、餘命を保つたのは彼の好運だと云ふものもある、その後を襲ふたクノーはユンケルと同じく聯邦主義で、佛國がルールに兵を進めた所以である、クノーはルールに於ける消極的抵抗に財政的援助を

新内閣の命脈
總選擧の終るまでらしい

【東京電報】清浦子が八日新聞記者に聲明した末節に「自分は平素政黨を基礎とする政治が立憲政治の運用上最も適當であるとの持論を持つてゐるもので既成政黨の政綱を顧り政黨の明晰なる總選擧を期するのであるから選擧の如きは最も公正にして政黨をして遺憾なからしめ以て立憲政治有終の美を濟さしめんと思ふ」云々とある之れ果して清浦子自身の理想であるとすれば今日清浦内閣の出現は全く其理想に反する者で周圍の事情に餘儀なく大命を引受たものと見ねばならぬ而して元老は選擧の公正を期する爲めに清浦内閣を造らしめたのであるから總選擧の結果を見て多數を得た政黨に内閣を引渡す可く其は六月頃と見られてゐる此内閣は單に超然内閣として出現したものでとても抱負とか畫策とかを實現するものではなく極めて無爲短命の裡に政變來となるものであらうと觀測されてゐる

樞議（九日）

【東京電報】九日は樞密院の定例日に付き午前九時より各顧問官出席、濱尾議長以下各大臣も全部參列し清浦首相より新任の挨拶あり次で附議すべき議案なき爲め攝政宮殿下の御機嫌を奉伺して十一時退散した

閣議（九日）

【東京電報】九日の定例閣議は午前十一時半より首相官邸に開會、各省次官及其他の人事も決定し議會に對する政府の態度方針に付き熟議し午後一時閉會事項の人事を決定し十三年度の豫算及同追加豫算に關する打合せを爲し其他議會前に於て貴衆兩院に於ける各派交渉員を招請して諒解を求むることとし二時散會した

政綱政策
未だ決まらぬ

【東京電報】九日の閣議で政綱政策につき協議する筈であつたが未だ樂觀せず爲めに意見の交換はあつたが一つも具體的に纏まつたものなく散會した併し清浦内閣の政綱政策としては左の如きものが含まれる事であらう

一、思想の善導
一、選擧の公平
一、綱紀肅正
一、農村振興
一、外交刷新
一、帝都復興
一、經濟復興

次官局長愈よ決定
九日閣議の結果發表さる

【東京電報】九日の閣議において各省次官左の如く決定發表された

任内務次官（一等） 井上孝哉
依願免本官 内務次官 塚本清治 警保局長 岡田忠彦
任農商務次官（一等） 農商務省商務局長 鶴見左吉雄
依願免本官 農商務次官 竹内友治郎
任警保局長（二等） 茨城縣知事 藤沼庄平
任社會局長（二等） 社會局部長 次田大三郎
任茨城縣知事（二等）
任遞信次官（一等） 通信局長 米田奈良吉
任通信局長（二等） 田邊治通
依願免本官 遞信次官 若宮貞夫
依願免本官 鐵道省工務局長
任鐵道次官（一等） 岡野昇
依願免本官 鐵道次官 中川正左
任陸軍次官（一等） 陸軍中將 津野一輔
任司法次官（一等） 司法省刑事局長 林賴三郎
依願免本官 司法次官 山内確三郎
補東京控訴院長（任判事） 山内確三郎
補大審院部長 判事 牧野菊之助
任文部次官（一等） 專門學務局長 松浦鎭次郎
任商務局長（一等） 松井貞一郎
任畜產局長（二等） 三浦實生
任食糧局長（二等） 川久保修吉
依願免本官 文部次官 赤司鷹一郎

稀らしい手腕家
岡野新次官

【東京電報】鐵道次官には岡野工務局長に決定したが始め選擇に入りたるは邦鐵監督局長井出繁三郎氏であつたが氏は餘りに政友的色彩顯著の爲め遂に落選し技能手腕共に省中に冠たる岡野氏の昇格を見たものであると因に岡野新次官は岡野前文相の令弟である

勅選議員推薦

【東京電報】九日の閣議で左の通り勅選議員を推薦することに決定
井上準之助
平沼騏一郎

反政府熱益々熾烈
漸く各政黨間に擴ごる

【東京電報】憲政會は九日夜加藤總裁邸に於て清浦内閣に對する反對態度を決せんとし又一方政友會憲政會の政府反對聯携も成らんとしてゐるが九日夜政友、憲政、革新の院外團も某所に會合し政府反對の決議を爲す事になつた反清浦熱は漸次政黨間に擴がらんとしてゐる

政友憲政提携打合
春日森兩氏憲政會を訪ふ

【東京電報】政友會幹部春日俊文、森恪兩氏は九日午後一時半憲政會本部を訪問し武内作平氏に會見清浦内閣倒潰憲政擁護運動に關し政友憲政の提携について種々打合をなし午後二時半辭去した

在外鮮人保護
十三年度施設費八十餘萬圓
特別の施設は出來まい

在外鮮人保護施設に就ては年と共に人口增加に比例し非常に必要となり、總督府に於ても、大正十年より之れが施設費を計上する事となつて、同年は二十八萬八千餘圓、翌大正十一年は六十一萬八千餘圓、更に大正十二年度は七十八萬三千餘圓を計上して居る有樣であるが、今や滿洲西伯利亞地方に居住する鮮人は的確なる數字を知る能はざるも滿洲約七十萬人西伯利亞約十五萬人と稱はれ、即ち合計約百萬人の居住者と觀察されて居るが、此の百萬人からの人口に對して、而も彼の廣漠たる滿洲地方に對して、八十萬圓の經費を以ては、勿論完全なる保護施設の出來やう筈はないのである。これが爲め内務局としては大正十三年度に於ては約五十萬圓を增加し百三十萬圓内外の豫算を計上した模樣であつたが、右は遂に豫算緊縮方針に準じ、僅に十二年度より一萬五千圓餘の增加に止められた模樣である。從つて大正十三年度在外鮮人施設費としては約八十萬圓を計上されたる事となつて居るが而も此の一萬五千餘圓の增加も特別の施設を計上した爲め增加されたものではなく、間島方面に於ける官業補助の規模を確立した爲め增加されたものにすぎない模樣であるが、斯かる事情より推測すれば大正十三年度に於ける在外鮮人保護施設も特に列擧する程のものはなく、依然大正十二年度と同一程度のものと見て差支なかるべく、即ち間島、安東、長春、吉林、奉天、浦鹽

火田民
渡鳥式の生活
炊事釜だけは必ず背負つて廻る

朝鮮には村落に定住する普通農民の外に山地に漂泊生活を營む火田民といふのがある全鮮を通じて分布する火田民の戸口は明かでないが火田の總面積が十四萬四千餘町歩に達して居るところから考へて見ると其耕作に從事して居る戸口及部落數の少からざることを想定する事が出來るこれ等の火田民が其耕作すべき林地に火を入れるには先づ面に許可願ひを出し警察官がこれを臨檢して火災豫防の條件を附けて許可するとになつて居るが徒地になるとこれを侵す者が頗る多いので森林の荒廢が夥しい此の火田民は普通一定の地區に定住して普通農民と同じく耕作を營むものもあるがそれは全く少數で多數の者は二三年か四五年經つと他に移轉するのである殊に甚だしいのは春來て秋去る一ケ年式のものがある其の食物は一年中の食事の大部分は作物の粟、稗、大麥の類などでこれを取入れた後は他に移つて行くのである…火田は一旦耕作した所は四五年以上は耕地とすることが出來ないので何れの道でも一時耕作して居る地積の外に三四年以上休耕して居る地積が相當に廣いのである火田民は轉々移動するばかりでなく其の生活程度が極めて低いから家屋も普通の農家より一層簡單で家具農具なども頗る簡單であるが中には一二の食器を家族數人で使用するのもある耕牛の如きも二頭を所有するものは約半數で他は一頭を所有するか又は一頭を數人共用で使用するのが常である甚しいものになると鋤さへ所有しないものもある然し炊事用の釜だけは必ず所有して移轉するにも大切にして背負つて行くのである

火田の種類にはプテキ（火德）火田、山田の三種がある「プテキ」とは咸鏡道地方の稱呼で耕したる所を云ひ火田とは一種の耕作した山田は二ケ年以後四五年間を經つてから再び耕すのを云ふ…とは普通の火田に對し特に純粹な所に行はるるものを指すので…ある火田民の漂泊部落では生活狀態が纔に一時的であるけれども其民の定住部落には其構成の上に任民の永久的思想が窺はれる、即ち漸や里では戰に一回附近の山が崇拜の地に山神を祭るか或は部落の首木、石等、…

驛屯土拂下並に貸附及地稅收納成績
厄年としては成績頗る良好
井上稅務課長語る（上）

總督府に於ける歲入中租稅收入の最も大宗であり、而かも租稅收入中地稅並驛屯土貸付及拂下料等が重要なる地位を占めて居ることは、論を俟たないところで、これ等は何れも毎年十二月を以て納期とされ之れが爲めには、各地に稅務課長までも出張する狀態であるが、大正十二年度に於けるこれが收納成績は非常に良好である。本年のことでありながら、災厄の年として非常に懸念されて居たことは事實であるが、稅務課長の語るところによれば左の如くである。

これは十二月末日の收納期間三ケ年が十二年度を以て期間終了となり十三年度を以て收納せねばならぬ額に於て約十三萬圓を總額に於て增加した額であらうと思ふ、而して之れを各道の收納成績に見ると左の如き割合を示して居る

慶尚南道	完納
黄海道	同
平安南道	同
咸鏡南道	九割九分九厘
平安北道	同
江原道	同
全羅北道	九割九分八厘
全羅南道	九割九分三厘
慶尚北道	九割九分二厘
忠清北道	九割九分
咸鏡北道	八割九分
京畿道	九割七分九厘
忠清南道	八割七分四厘

と云ふ狀態であるが、此の内昨年より成績の好いものが慶南、平南、平北、黄海、京畿、咸北、全南の六道で他は例年と同一程度である。地租の收納成績は斯くの如きものは災害、成績の二通であるから水害や旱魃等があつた年に比較しては見る損害の事であらう。先づ好成績と云ふべきであらう。

之れを地稅より見れば大正十二年度に於ける第一期收納額に於て前年十二月廿八日までに收納された金額は八百十九萬圓であつた、此内十二月廿八日までに收納された金額が合計八百〇四萬四千六百二十二圓である、從つて未收入十五萬二百十四圓であるが、これが收納步合を見ると九割八分一厘となつて居るのである。これを昨年の九割九分に比較すると、九厘の不成績と云ふことになつて居るが、

全鮮耕地面積

現在に於ける全鮮の耕地面積を調査するに、畓百五十四萬五千百二十三町四段、内二毛作地二十五萬三百三十二町二反)、田三百七十七萬二千百九十四町八反、計四百三十一萬七千三百十八町二反で(内

復興木材發送
安東から既に二百五十車

朝鮮鐵道の貨物中震災後の復興建築材料の輸送は近來著しく激增して來た昨年十二月下旬に於ける輸送の木材輸送は百五十三輌で中旬に比して九百八十八輌の激增を示して居るが之は年末に際して釜山方面に依るものである安東縣から京城局との間に輸送契約したもの全く六百輌を安東木材業組合の縁故のきの木材は合せて…輸送を終つたのは二百四十輛で…

財界不況と納稅影響
長尾財務課長談

財界の狀況が如何なる影響を納稅の上に及ぼしたかに就き京城府財務課長長尾氏は語る、之は京城府に限つた問題ではないが一般商況は非常に財源を主として地租に依つて…

運輸規程改正

火藥類運輸取締令規則の改正に依り火藥類運輸規程も改正されることになつてゐるが鐵道部では右火藥運輸規程改正に關し作年末稀々研究中のところ十二月中既に成案を得一月より發布施行を見る筈であつたが未だ火藥取締規則の發布を見ないので其儘となり居れるが多分年度替り頃迄には發布の運びとなるであらうと

府内酒造檢査施行

京城府財務當局にては府内の酒造業者を行ふ由なるが之が監督として總督府から井上稅務課長、清水技師、松本事務官等出張する由

忠州延豐電話架設

京城遞信局では今回忠清北道忠州から延豐迄の電話架設をすることとなり在來の延豐電話線を利用して忠州延豐、聞慶尙州間の電話線に接續して忠州延豐、聞慶成昌、尙州との直接通話の出來得る樣にするさうであるが此の工事は目下材料運搬中であるから遠からず工事に著手するであらうと

電話新名簿作製

京城郵便局では大正十三年一月一日現在を以て電話新名簿を作製して來る二十日頃には一般加入者に配布の筈であると

敍位
（東京電報）

正六位勳六等 故朝鮮總督府郡守 朴永錫
敍從五位

公會私會

◇優良保線表彰式　滿鐵朝鮮線優良保線區の表彰式は十二日午前十一時より京鐵局内に於て左の次第に依り式を舉行すると
一局長より優良及佳良保線區長へ酒肴料及賞狀を授く一、工務課長故岡村技師記念保線獎勵金を授く
一局長の訓示一、工務課長講評一工務事務所長答辭ありて後同局玄關に於て記念撮影

◇漢城銀行重役會　漢城銀行にては十日重役會を開く第十七期（自六月一日至十二月三十一日）決算を確定し二十五日頃の定期總會案を作製すべきが配當は前期同樣年九朱とするか或は時節柄幾分減率となるらしいが尚ほ總會には取締役韓相龍李允用監査役金用集の滿期改選の結果多分全部重選するであらう

ヨシアシ

◇休會明けの議會と、五月の總選擧とどつちがまたれるか。

◇内閣の更迭は鮮銀移管問題には影響無からう。

◇豫算は前内閣のを全部踏襲する、當然のことだがヘンに響く。

◇各省次官を更迭するか、せぬか、豫算と同じ問題か。

◇カラハン氏は白軍の武器問題で支那外交部へ抗議、よくも抗議好きな男だ。

◇清浦首相語る、立憲政治の運用に政黨内閣が最も適當だとある、果して然らば。

廿五圓で金モウケ
▼意外に有望な副業
●金儲けの第一はクサレヤローズの出ない賣の取次ぎ販賣に限る●尚現今は勿論各商店の副業に適する●口錢は勿論各方面の内職にもよろし●之れなら誰でも出來る●二十五圓で二十五種の有名賣藥の販賣が出來る●既に全國に五千七百餘の特約店あり成績非常によろし●特約店は一町村一名に限る●詳細案内書進呈●ハガキにて申し込みあれ
東京市込區八町六〇 資本金五十萬圓 日本製藥株式會社

受領廣告
日本簡易火災保險株式會社
（京城旭町二丁目六十八番地）右會社と保險金二千圓契約中の處今回罹災に依り確實に保險金受領候間此段廣告候也
京城府茶屋町 李聖弼

佐藤病院
仁川 院長 ドクトル・メヂチーネ 佐藤小五郎
入院應需 電話四〇九番

○患者用松葉杖一組金參圓貳拾錢ヨリ五圓五十錢マデ各種下命ノ時ハ腋下カラ床マデノ寸法通知被下度候
▲義手足元祖如何ナル不具者デモ聘商病デモ器械術應用デナホル
專門 義肢製作所 高野
京城本町一丁目 電話本局壹貳六番
松葉杖名価（見本郵呈ス）

家屋賣却廣告
大田春日町一丁目
一建坪百拾貳坪 一地坪三百拾貳坪
一旅館用器具一切
右至急賣却シタシ希望ノ御方ハ御來談ヲ乞フ
京釜線大田春日町一 田口覺二
櫻屋旅館

內科・小兒科
仁川仲町 高木醫院 電話七一九番

洋鐵鋼鐵道船舶 材料其他工業諸器械 附屬品商
建築 七 木
角野商店
釜山幸町（振替京城一三三三 電話二三九番）

優等清酒
ワカマツ
一升瓶詰
若松
朝鮮大邱府東門町
若松商會酒造場
電話長一二 振替京城一〇三七番

資本金 壹千五百萬圓
積立金 貳百拾六萬圓
株式會社 十八銀行京城支店
京城府黃金町二丁目 電話本局六〇・一八一四・五 振替貯金口座京城一〇九
同 龍山支店
京城府漢江通り十三番地 電話龍山五〇番 振替口座京城一八二番
同 龍山出張所
京城府元町二丁目 電話龍山一八番
銀行一般ノ業務ハ特ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

ぜんそくたんせき患者と感冒患者の一讀を乞ふ
新藥 アストマトール
滿洲藥物界に於ける一大發見！
醫學博士久保田晴光先生實驗御推賞
△ぜんそくたんせき患者の一大福音！
△「勿驚タツター一回一茶匙（三瓦）の服藥を以て咳嗽止み呼吸困難去り胸自ら開けて蘇生の感あり」
本劑は劇藥、毒藥、中毒性の配劑あらず醫學博士久保田晴光先生多年藥物御研究の結果發見せられたる多數劑にしてアドレナリン注射の如くる注射を要せず、内服に依つて其の効力彼よりも偉大なるを特長とす、ぜんそく患者は勿論一般たんせき患者は兩三回の服藥を以て効を奏す、尚ほ體温を增す故に感冒豫防として即効あり、
△適應症 喘息其他急性慢性の呼吸器疾患にして咳嗽喀痰を伴ふ諸症例へば氣管支炎、百日咳、肺結核、咽頭炎等
△藥價 壹圓、貳圓、四圓、七圓、の四種但し滿洲朝鮮に限り當分の内
製造發賣元 奉天松島町十四番地 鶴原商店製藥所
日本販賣所 門司市本町 振替大連二八六三番 鶴原誠藏商店
本年中は直接奉天へ注文を乞ふ（送料弊店負擔）
是非一度の御試用を乞ふ

大下の銘釀
醇良無比
賀茂鶴
釀造元 賀茂鶴酒造株式會社
朝鮮發賣元 河野又一本店
京城府黄金町壹丁目百拾番地 電話光化門 三四五番

各種金銀器 貴金屬美術製品 白金地金 金製作
京城明治町一丁目
電話二七五二番 振替京城二三四
德力京城出張所

咸北道明年度事業（下）
―中野知事の施政方針

社會教化の方面に於ては從來施設した幾多の施設を繼續し進んで地方青年會の指導及び一般的教化に對する施設を徹底せしめる方針であります目下本道には八ケ所に女子夜學會が設立され婦人自ら率先して家庭の改善、常識の涵養婦德の修養等に努めて居りその數八百名を算せるのみか一方には明川外數ケ所に日曜學校が設立されてゐるので本年七月の創立にかゝる本道教育會をして此等のものを指導奬勵せしめ一般の向學心を助長する方針で多少の補助を計上したのです又地方青年の指導に就ては各種各樣の方法もありますが取りあへず地方有力者並に學校職員郡部職員等が協力一致して組織的の手段方法を講じ之を指導する事にしたいと考へるのです其方針としては成るべく實業方面の研究心を養ひ穩健質實なる思想を培ふ事が最も有意義だと考へて居ります

勸業施設は 直接地方住民の休戚に關する事項ですから特に此點に心を用ひ一般產業界の進行に資するため道特產品共進會を開催する計畫を立てました次ぎに本道の重要產業である水產業の開發に資すべく水產試驗船をも新造し（七月竣成の豫定）又產業上では畜產特に畜牛の改良及び增殖の施設を確立し一方普通農事に於て從來實行しつゝあつた副業獎勵の組織的普及を徹底せしむる方針であります次ぎに

工業方面で は現に見るべき何等の施設なく此點は全鮮中最も貧弱な點ですが將來發達の見込ある窯業其他二三の事業に對しては其發達に要すべき例へば組合の如き施設をなし多少の補助を與へる計畫であります織業の方面に於ては道內全般に涉る麻布製織の改善はやゝ見るべきものがありますから明年度よりは同業組合組織によつて更に一層の改善を計り製織方法や販路の擴張等に就て十二分の努力を注ぎたいと思ひます又南部地方には臥の養蠶を北部地方には柞蠶工を中部及び山間地方に對しては木器製造等の各副業を獎勵普及し同時に林業に就きましては造林に必要なる山林、苗木の普及、及び本年總督府より下附せられたる模範林一萬八千町步經營を確定する方針であつて此の爲め新に技術者を採用する計畫を立てたのであります次ぎに經濟調査委員會を本道に設置する事になつた結果委員は之を道內民間有力者に囑託する計畫であつたのですが要望する所は外資の移入であつて之を外部に求めるとせば勢ひ官廳の必要を生じ、而して官廳の效果を收めるには外部の有力者に依賴する事が最も策の得たるものと考へ本道外の在住にして且本道の事情に精通し殊に本道と密接なる關係を有する人々に之を囑託する事に變更し目下夫々人選中でありますが然し充分なる經費がないので委員には小額の旅費並に謝禮の程度に於て幾分の費用を支出する事とし之も明年度の豫算に計上したのであります衛生狀態の改善に關しても少しく意を用ゐる所があつて之に要する各種の經費は何れも計上しました又、授產事業等にも監理をなし羅南水道事業は之れを羅南面に移管する事となつたのであります

歲出の總額 は以上の方針に基づき來年度に於て必要なる豫算を計上した結果百十二萬餘圓に上り之れを前年度の百五萬八千餘圓に比較する時は六萬六千餘圓の增加を示して居ります而して此の支出增加に對する財源に關しては先頃申上げた通り時恰も經濟界の不況に際し一般歲入におきまして著しい增加を望み得ないのと一方經濟界に於ても起債を許さない狀態ですから勢ひ一般歲出の節約就中人件費需要費及營繕費の節約に於て事業の執行上支障なき程度に整理節約し又一面に於て十二年度一般經濟計畫の剩餘により起債未了額五萬圓の借入を實行し其繰越しを受くべき金額を合して歲出增加の財源に充る事とし入出の均衡を得せしむると共に授產事業を整理する等豫算の形式に關しても亦相當に整理する所があつたのであります之を要するに明年度豫算は一般財界の大勢に鑑みて負擔の增加をなす事なく經常部及臨時部歲出の整理節約により歲計剩餘金の整理によりて得た金額を以て急を要する諸般の施設を實行するに遺憾なきを期したのであります

全羅南道評議會
元知事豫算編成方針演述

【光州】全羅南道第四次道評議會は七日午前十時道會議室に於て開會議員定數三十四名中缺席其他により十一名出席議員廿三名參與員として石參與官松井內務部長土師警察部長澤財務部長各部課長等も出席定刻に至るや元知事は議長席に着き開會の挨拶並に大正十三年度地方費歲入出豫算編成方針に就き說明あり大正十三年度諮問案を各議員に配付し松井內務部長より諮問事案に就き說明する處あり正午閉會した

議事日程

第一日　一月七日（月曜）道知事開會の辭諮問案の提出

第二日　一月八日（火曜）諮問第一號大正十二年度道地方費歲入出追加豫算

第三日　一月九日（水曜）諮問第二號大正十三年度道地方費歲入出豫算

第四日　一月十日（木曜）同上

第五日　一月十一日（金曜）同上

第六日　一月十二日（土曜）諮第三號大正十三年度道地方費職員退隱料及遺族扶助料特別會計歲入出豫算諮第四號公立實業學校規程中改正案諮第五號全羅南道吏員退隱料退職給與金死亡給與金及遺族扶助料支給規則制定の件諮第六號米穀檢查規則中改正案

第七日　一月十三日（日曜）提示第一號大正十一年度道地方費歲入出決算

右日程は時宜により變更することあるべし

豫算編成方針に就て　元知事演述

大正十三年度本道地方費豫算の編成に就ては關東地方震災の影響及地方經濟界の現狀等に鑑み極力緊縮方針を採り以て地方稅の增徵を避け道民負擔の輕減を期し而も道治各般の健全なる進展發達を企圖せり即ち今其大綱に就て之れを概說すれば歲出に在りては造林の模範を示すと共に一面地方費將來の財源に資すべき模範林數の經營に要する經費並に道立施設に對する施設の確立に要する經費、水產施設の發達に資すべき水產試驗場の新施設に要する經費、米種更新計畫の進展に伴ふ增加經費、畜牛の改良增殖に要する經費の增加等を主とし教育に在ては前年度に於て認可したる道立師範學校の學年完成並に校舍の建築に要する經費、木浦公立商業學校の內容充實及規程建造物の設備に要する經費、光州公立農業學校の昇格に伴ふ緊急の經費、麗水公立水產學校の學年延長內容整備及校舍の建築に要する經費、二面一校計畫遂行の增設並に既設學校完成に對する補助の經費等を眼目とし地方費取扱ひ費に在ては財務機關の擴立に關聯して地方稅の徵收は地方費自體に於て之を執行することと爲るを以て之に要する經費等增額を必要とするもの十數萬圓を算し而も上叙の諸經費の增加は何れも既定計畫の實行若くは時勢の進運に應ずるの施設或は根本制度の改革に伴ふ緊急不可缺の施措に要する避く可からざる經費に屬する道民の直接負擔に屬すべき地方稅の增徵を爲さゞる限りは勢ひ之を他方面に求めざるべからず乃ち地方費人件費に就ては真に已むを得ざる事業擴充に伴ふものの外絕對に職員の增置を見合せに應分の待遇向上費を認め旅費の如きは專ら職員の獻身的努力と節約とを增進期待して事務成績を擧揚せしむることとし其豫算額に大削減を加へ又各郡事務所は業より施設事項の全般を通じて費用の大節約を計り是等を以て數萬圓を捻出し一面に於ては地方費並に臨時恩賜金財產に依る收入の增加地方費營造物の使用に依る收入の效率物件の自然增加に依る收入增使用增加に依る自然增收、國庫補助金の增加等に財源を求め尚且不足の分額に就ては從來の諸施設にして相當成績效果を納め之を廢し若くは縮少するも將來の進步發達を爲し得の機運に到達せる施設に對しては改廢を斷行して得たる所を財源に轉用し又交通上の施設に於ても本年度地方費經濟の大勢に鑑み事業の緩急を考察して道路橋梁の維持改修災害の復舊等の如き緊急不可缺の施工に止め以て歲計の膨脹を制し辛うじて歲入歲出の均衡を保持することを得たり

要之大正十三年度本道歲入出豫算は前年豫算に比し三萬餘圓の增加を示せりと雖も道民直接負擔の地方稅に於ては却て之れを輕減し專ら使用料手數料等の自然增收入增加、國庫補助額の增加等に依り上叙諸般緊急の施設をして完全の効果を獲得し道民の福祉增進を企圖せむとするものにして頗る苦心の存する所なり各位幸ひに之を諒し慎重審議同を與へ道治に貢獻せられむことを切望に堪へざる所なり

平壤商議會頭問題
內田氏漸次優勢となる

【平壤】平壤商議會頭問題は大橋氏辭任を聲明して動かず內田錄雄氏を適任者として推戴したる爲め反對派は極力之を阻止せんとしたがこれに對し相總錄雄氏を中心とする朝鮮人側議員全部は猛烈に反對し最初より內田氏の適任なる旨を聲明して讓らず爲めに行惱みの狀態となり幾多の迂餘曲折の結果年末も押迫りたる大晦日に會頭選擧の臨時評議會を開催したが當日の會議は僅に十二名の出席にて流會の悲哀を見、一月四日再招集會となつたが內田氏も平壤の爲めにとて同志先輩より熱烈に出馬を促され始めて意を決し出馬を聲明すると共に堂々の陣を布くに至り四日の再招集評議會の席上絕對多數を以て內田氏當選確實となるや突如福島商事會頭取擊は四日正午に迫つて當日の評議會は都合に依り無期延期の通報を各議員の手許に發したが三十名の議員中五名の旅行者を除きて十九對六と云ふ分野で內田氏優勢である

不徹底な妥協を排す
朝鮮人側評議員の意嚮

右に關し朝鮮人側評議員の意見を叩くに相總錄雄氏と行動を共にせる李宗夏氏は左は朝鮮人側評議員の意見なりとて語る「此際に於てこそ內田派福島派といふものがあつて二ケ年間紛糾を見たが今期は紛擾期間しで內田派もなければ福島派もない、朝鮮人側は內田氏の手腕識見を信じ最初から擁立して會頭として同氏を最初から擁立したのである然るに福島派の一部が內田氏排斥の意志無かりし大黑氏を推し同じ込みの策として最初より出馬の意なき大黑氏を擁立したが內田氏が適任者なりとして會頭を固辭するに及んで又々與田延之助氏を擔ぎ上げ時局を紛糾せしむるに至つたのは誠に遺憾である聞く處に依れば內田、與田兩氏の調停者がこの際妥協して一年間宛會頭になつたら可からうと勸告を試みてゐるとの事であるが斯かる不徹底な妥協はこの際絕對に排斥する、假に內田氏が一年間會頭を認めた後內田氏辭任し與田氏起つとした場合、若し評議員多數が與田氏を適任者でないとしてこれを認めなかつたら如何なるか又々紛擾を釀すであらう、それよりもこの際徹底的に數を爭つて出馬すべきで是れ公正の常道と信ずる。徒らに會頭の名を爭つて讓を擧げやうとしないに至つては其心事を自分達は解するに苦しむ

御成婚記念に
大運動場新設

【鎭南浦】鎭南浦府民は東宮殿下御成婚の御慶事を如何に奉祝し又永久に記念するかに就き鎭南浦市民は昨年來種々なる有志會合協議を重ねて居たが府當局としては同時に競技場を設立せんとの意嚮であつたが有志側は大神宮下の廣場を利用し約六千坪の大グランドを作り永久的記念事業として公設運動場を設立する事に決定して有志側と府當局との間に協定出來、越年解氷早々實現する事となつた

北鮮の對岸試賣會
多大の成功を收めた
對岸貿易に一新紀元を劃せん

【羅南】咸鏡北道主催の北鮮特產品試賣會は豫定の通り富山、金澤、新潟、敦賀、新舞鶴、京都、大阪の順序で開催したが縣當局、市町役場並に商業會議所の多大の後援ありたるは勿論新井每日を始め各新聞社は何れも大に諸誌を以て迎へ且民論の喚起に努めた結果新に取引を開始したるもの勘からずのみならず大に觀察の關係を具體的に結んだ効果は多大であつた、就中敦賀、舞鶴の如きは開催豫定地でなかつたが是非開催方を熱望せられたが年內餘日無きを以て次會に讓らんとしたが再三の切望あり止むなく新貿として開催したが此の機會に於て敦賀、舞鶴では北鮮貿易商社を組織せんとする計畫が成つた等何れも對岸の親密關係を具體化せんとして居る、而して北鮮民は之に應ふるの覺悟が必要であらう兎に角今回の試賣會が一の導火線となり對岸との貿易に一新紀元を劃するであらう

平壤火災度數
比較的放火が多い

【平壤】大正十二年中平壤の火災度數は百六回で損害額は卅一萬五百餘圓といふ平壤消防設置以來の記錄を破つた大きなものであつたそして火災の原因に就ては證憑不明が不始末を筆頭に煖突の掃除不行屆き煙草の吸殼や小供の弄火が多いのであるに反し十二年は比較的放火が多かつたのは遺憾であつた然し例年平壤には新年の火災が付き物であつたのが今年は僅かに新陽里にボヤが一回あつた位に過ぎないのは幸先がよいと衛が言つて居た、因に過去五年間の火災統計は次の如くである

	回數	損害
八年	七五	三一、三一四圓
九年	六七	二六三、九七八
十年	七二	六五、七四四
十一年	七二	四五、一二四
十二年	一〇六	三一〇、五七三

仁川公普
授業料改正
八十錢を一圓に

【仁川】公立仁川普通學校では從來の同校授業料八十錢（月額）を一圓に改正することとし曩に開かれた仁川學校評議會において諮問した結果決定目下その筋の認可を俟つてゐるが右は一般財源の不足を補塡するためであつて實施の上は年額三千五百圓の增收となるのであると

埋立工事決行　鎭南浦

【鎭南浦】鎭南浦府では大正十三年度豫算は新規事業は全部見合せる事となり僅に臨時部にて四萬二千圓を計上し鎭南浦の浚七千九百坪四石里の千百八十九坪の埋立工事を決行することとなり來る十五日の府協議會に提出する由である

平壤の觀兵式

【平壤】平壤步兵七七聯隊營庭に於て八日午前十一時より平壤衛戍司令官武川少將統監の下に衛戍部隊全部の觀兵式が擧行された、參加部隊は步兵七七聯隊の外飛行隊騎兵隊等であつて在鄉軍人赤十字社員多數列席し參觀者は數萬を以て殷賑を極め分列式を行ひ式を終つた

大田大隊陸軍始式

【大田】大田第三大隊にては八日午前十一時より陸軍始めの式を擧行定刻各中隊は營庭に整列分列式を擧行し終つて大隊長訓示あり之にて式を終り退散した（大田）

安東消防出初式

【安東】安東消防組の出初式は七日午後零時半同所に整列をなし岩本安東地方事務所長臨席し器具及服裝の檢閱を終へ三浦地方係主任の訓示を與へ岩淺同組長答辭を述べて祝宴を張つた（安東縣）

春川消防出初式

【春川】消防出初式は四日午前十一時から春川警察署構內で擧行先づ兒玉警察部長臨場の下に十ケ年以上勤續者組頭山中友太郎外十一名に對し表彰あり夫れより器具器械の點檢あり兒玉警察部長の訓示、山中組頭の來賓與田郡守の祝辭あり終つて放水試驗を行ひ市中を一巡し午後六時より消防家に於て官民有志を招待盛大なる新年宴會を開催した（春川）

慶北道初武道會

【大邱】慶北武德會にては七日午後一時より慶北武道館に於て新年初武道會を開催同五時終了夫れより宴に移り鹽汁に舌鼓を打ち同七時散會した當日の入賞者は次の如くである（大邱）

▲劍道一等（部）師口猪次、二等（部）實松榮雄、三等（警）飯島煥四等（警）川又潤、五等（署）河發卓

▲柔道一等（部）湯淺久吉、二等（署）趙南柱、三等（警）古屋幸平四等（憲兵隊）野崎茂作、五等（大邱中學校）佐々木發雄

大田大隊入隊式

【大田】大田第三大隊では十二日本年度初年兵の入隊式を擧行する筈である（大田）

大中授業開始

【大田】大田中學校は八日午前九時より始業式を擧行し同十時より授業を開始した（大田）

婦人會名刺交換會

【沙里院】愛國婦人會沙里院委員部では七日午前十一時より沙里院普通學校で名刺交換會を開催、新年同會に代へたが會する者一百餘名委員部長武田夫人及職員各郡夫人の挨拶に次ぎ小學校生徒の唱歌、講話等の餘興あり極めて盛會裡に午後三時散會した尙ほ同會を利用し手藝品の展覽會を催ふし一般の縱覽に供したが其出品數百八十點に達し繡物、編物等の見るべきもの鮮からず時節柄最も意義ある催しであつた

國民精神振作講演

【平壤】平南道社會課に於ては昨年十一月十日渙發された國民精神振作に關する詔書の御趣旨を徹底せしめる爲め京城帝大豫科の講師大庭氏を招聘して順川、平原、江西、龍岡、鎭南浦各地を七日より十二日迄巡回講演を行ふと

演武場神靈奉安式

【平壤】平南道警察部に於ては昨年來道廳內に警察武道演武場新築中の處年末を以て落成を告げたので八日神靈奉安式を擧行し夫より武道始めの試合あり午後一時終了した

慶北警察部長訓示

【大邱】慶北富永警察部長は七日午前十時より各課員を同樓上會議室に集め新年であるので各般に渉り訓示する所あり之に次いで各課長と懇談を遂げ正午終了散會

平南武道講習會

【平壤】平南道警察部に於ては八日より二十一日迄道廳武道場に於て武道講習會を開催し柔道部に於ては古賀五段劍道部では稻富四段を師範とし二段以上の技術ある者は每朝六時三十分より八時迄其他の講習生及有志參加者は午後三時より五時迄の間に於て寒稽古を行ふと（平壤）

地方集會

▲府尹招待【新義州】新義州府尹齋藤鐵足氏は新年に際し親交を圖る爲め七日正午府協議員學校組合議員同評議員等三十餘名を鴨綠ホテルに招待し午餐會を催したが夜は更に在住新聞記者十餘名を料亭三福に招待し親睦宴を催した

▲法院新年宴【新義州】新義州地方法院長井浦榮久氏檢事正志水高次郎氏は七日午後四時から法院及檢事局の職員一同を安東縣鴨江亭に招待して新年宴を催した

▲安東貿易新年宴【安東縣】安東貿易商組合では八日午後五時から料亭すみれに於て定期總會を兼ね新年宴を張つた

▲長谷川招待宴【大田】鎭海警察署長長谷川照治氏は七日夜來田したるを以て氏の知己は八日午後六時より料亭富士家に招待し歡迎の宴を張つた（大田）

▲木材商新年宴【安東縣】安東材木商組合では十一日午後五時から料亭まつこに於て定期總會を兼ね新年宴を張ると

▲粹蓄商新年宴【安東縣】安東粹蓄商組合では十二日午後五時から料亭山長之助に於て定期總會を兼ね新年宴を張ると

地方人事

▲川添種一郎氏（鎭南浦商議會頭）七日京城へ（鎭南浦）

▲富田儀作氏　同上

▲熊津琴天主獨領事夫人　七日過安內地へ（安東縣）

▲園田騎兵第六聯隊長　九日來安同夜新義州一泊翌十日九連城日露戰跡調査研究同夜安東一泊翌十一日哈爾賓附近の同調査研究の上歸任（安東縣）

▲佐藤俊久氏（安東鐵道事務所長）隣省中の處九日歸安（安東縣）

▲澤田留治氏（京城覆審法院判事）前橋大田支廳判事より榮轉八日午後三時二十分大田發列車にて家族同伴赴任（大田）

▲内藤確介氏（安東縣木公司理事）病氣引籠中（安東縣）

▲篠平德一氏（滿鐵常務）定時重役會及株式總會出席の爲め十二日大連へ（安東縣）

▲山田浩治氏（滿鐵取締役）同上

▲式村茂氏（滿鐵取締役）同上

謹賀新年（イロハ順）

群山府榮町　米穀商　飯盛德一商店　電話三二六番

群山府榮町　米穀商　花岡精米所　電話三一番　一四七番

群山府本町　米穀商　半田瀧吉商店　電話一〇七番

群山府本町　米穀商　群山通商合資會社　代表　西村又三郎　電話三三三番

群山府本町　米穀商　大園商店　電話七〇一番

群山府旭町　米穀商　吉永吉三郎商店　電話一五五番

群山府本町　米穀商　田中龜次郎商店　電話三一四番　五三二番

群山府本町　米穀商　中井小一郎商店　電話二一三番

群山府旭町　米穀商　長田礒次商店　電話二二三八番

群山府全州通り　米穀商　群山商事合資會社　電話七四〇番　七四四番

群山府本町　米穀商　松埸蜜三郎商店　電話四一七番

群山府明治町　米穀商　朝鮮物產株式會社群山支店　電話三五三番　一五四番

群山府本町　米穀商　朝鮮精米株式會社群山支店　電話四一四番　四六五番

群山府本町　米穀商　安積直吉商店　電話四一二番

群山府江戶町　米穀商　株式會社朝日精米所　電話二四六番

群山府本町　米穀商　岸田當造商店　電話一三八番

群山府本町　米穀商　南槌松商店　電話五一七番

群山府旭町　米穀商　都宗太郎商店　電話二二六番

群山府全州通り　米穀商　日高千代吉商店　電話二〇六番

群山府榮町　米穀商　森菊精米所　電話二二三番

∴仁川新設電話開通∴

イ之部
四五五　花町一　櫻吹壇石粉　岩崎政介
四五八　松坂町　石鹼製造生田組石鹼工場
四六〇　花町一　奧田精米第三工場　今井京太郎
四六四　海岸町三　船具　石川介吉
四七〇　花町三　食料雜貨　石川繁太郎
五六七　宮町三　伊東キク
六六七　支那町　日用雜貨　磯永商店
六七四　本町三　井上寫眞館

ハ之部
四六八　新町　土木建築請負　長谷川勇吉
八七〇　內里　梁相斗

ニ之部
四六二　海岸町　取引所仲買人　新田榮民

ホ之部
三七一　稅關構內堀商會出張所
四七四　新町　米　朴道行

ヘ之部
八七二　新町　精肉　勉強屋支店

ト之部
四五三　萬石町　醬油釀造　野田竹藏
六六九　支那町　雜貨　同成號
六七二　宮町　島居長次郎
九五三　海岸町　島居長次郎
九四〇　龍岡町　東亞日報仁川支局
九五五　新町　吳服　德興泰
九五八　內里　東聚成
九六七　內里　雜貨　同盛永

チ之部
三七二　港町　朝鮮商業銀行仁川支店
六六二　中條運送店船舶請所
六七三　海岸町　朝鮮郵船會社仁川出張所
九五四　外里　朝鮮日報仁川支局
九五七　本町一　北京料理　中華樓
九五九　山根町　朝鮮銀行仁川支店合宿所
九六三　港町　朝鮮實業銀行仁川支店

リ之部
七七〇　內里　李唯鉉
九四一　內里　仲買　李興酒
九四五　外里　李順日

ヌ之部
四六三　濱町　布井商店本宅

ヲ之部
三七四　宮町　近江屋質店
四五六　山手町　太田英一
五六二　仲町　緖方久
五七二　山手町　小倉幸吉
九六五　支那町　王寶臣

ワ之部
九四三　仲町二　代書代理　渡邊卿
九六二　花町二　銀行員　渡邊啟

カ之部
四七一　寺町　花月堂
六六一　花町二　川口製飴所
九七〇　仲町二　河合律三郎

ヨ之部
九七三　京町　横田愛房

タ之部
四五四　內里　陶器商　田口市太郎
四五九　本町四　田中作二
八七四　築港　田中回漕部荷扱所
九五一　宮町　玉置精一
九六九　新町　玉利洋服店

ソ之部
四六六　仲町一　疊表商　園田商店
八六四　新町　其原酒類商店
八六五　本町四　米穀商　曾根砂

ツ之部
五六三　花町二　築山建具工場
八六一　濱町　鶴田醫院家族用

ナ之部
四六一　新町　食料雜貨　中村嘉兵衞
四六七　仲町二　中井彥助
五六八　山手町　ナカモトゲンゴロウ　ベンネット商會員

ム之部
九七四　寺町　商業校長　向井最一

ウ之部
六六五　內里　金物　宇山秀市
九五〇　山手町二　上田文次郎

ノ之部
四七二　本町三　野田齒科醫院
五七三　築港　野口商會荷扱場
九六一　海岸町　野中喜恩藏

ク之部
九四九　花町一　久保百司

ヤ之部
三七三　新町　山口精米店
五七〇　新町一　山田捷吉
七七四　濱町　材木　柳原武一

マ之部
五六九　新町六　菓子舖　松浦元三商店
六六三　山手町二　仁川病院外科主任　牧瀨武顯
九四二　仲町二　松村虎人
九四四　花町三　米穀　松本常一

フ之部
四七三　港町一　運送　福島喜三郎
六四四　仲町二　古屋ヤスノ
六七〇　宮町　洋服雜貨　古原兄弟商會
七七一　稅關構內　福島組出張所
七七三　花町一　左官　古田孫吉
八六九　宮町　深堀屋精肉店
九七一　花町二　豐前屋豐商店

コ之部
五六五　仲町一　古閑敬夫
九六〇　本町三　小淵紋七
一〇四五　山手町二　公會堂

テ之部
六七一　內里　天理教

ア之部
五六一　寺町　東屋菓子店
八六三　內里　安宗淳
九六四　本町四　朝日組
九六八　本町三　天民齒科醫院

サ之部
四六五　取引所庶務課長宅　澤庸浩
四六九　新町二　齋藤恩太郎
五六四　花町一　坂倉伊平
五七四　新町二　雜貨　佐伯潤一
八六〇　內里　三見商會

キ之部
五六六　港町五　協同組仁川支店
八六二　外里　醫院　金相宙
八六七　港町五　協同精米株式會社
八六八　間岡町一　植木　北垣林之介
九四七　外里　米穀　金[illegible]
九四八　新町　パン　木村屋仁川支店
九五二　栗木里　海陸物產　金昌永

ユ之部
七七二　稅關構內　由明商會出張所

ミ之部
五七一　本町一　蒲鉾　右田榮吉
六六八　寺町　酒醬油　富田商店
八五九　花町一　會社員　三月守三

シ之部
四五七　龍岡町　美濃谷仁川鐵工所
六六六　支那町　雜貨　諾興東
九四六　內里　朱明甚
九六六　仁川稅關

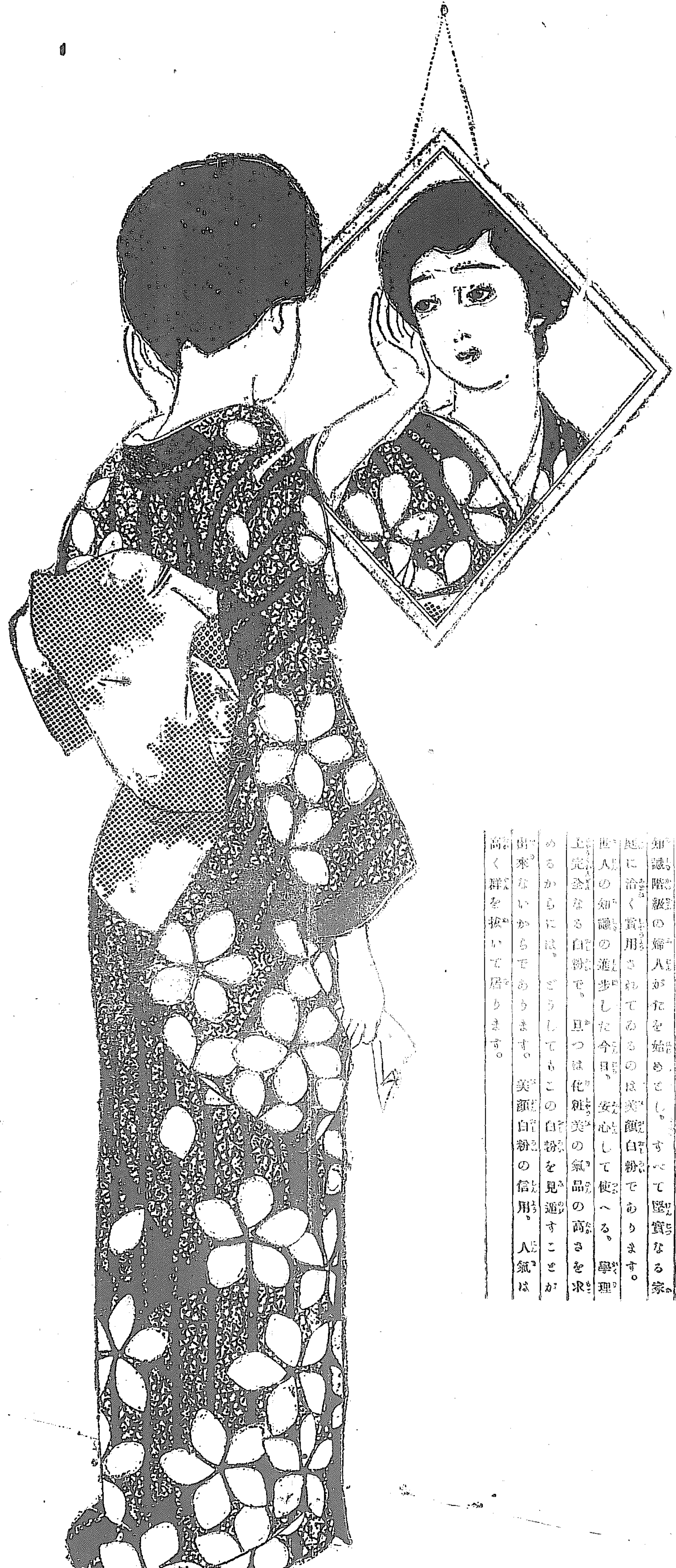
ヒ之部
八六六　仲町一　鳳池亭四郎
九七二　仲町二　平野稻森

セ之部
八七一　敷島町　鮮人貸座敷組合

ス之部
九五　宮町　西洋料理　鈴木吉太郎

純無鉛

美顏白粉



氣品高き白粉として

知識階級の婦人が之を始めとし、すべて堅實なる家庭に洽く賞用されてゐるのは美顏白粉であります。世人の知識の進歩した今日、安心して使へる。學理上完全なる白粉で、且つは化粧美の氣品の高さを求めるからには、どうしてもこの白粉を見遁すことが出來ないからであります。美顏白粉の信用、人氣は高く群を抜いて居ります。

學理を最も正しく
應用したる……白粉

桃谷化粧品研究所創製

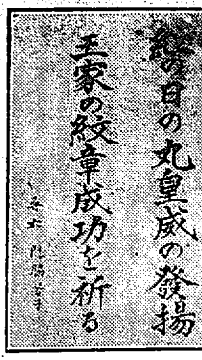
子供欄

作文

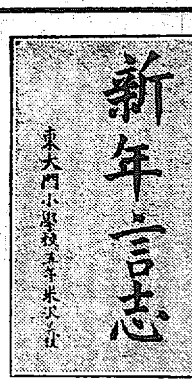
年頭に立つて

東大門五年 石川一郎

ごた〳〵の多かつた大正十二年は過ぎてしまつた。新に初まる大正十三年、何と希望のある懐かしい年ではないか。正月は年の初めである。一年の計は元旦にある。僕は思ふ、大正十二年は關東地方に震災があつたりして實に我國には未曾有の艱難を來したのであつた。然し十三年の希望ある此の朝かしい年頭に立つて、日本帝都を見返り、震災前以上に發達させなくてはならぬ。勅語にも『新年言志』と目ざめた國民に問はれてあるではないか。聞いただけでも我々國民はふるひ立つべきである。此の希望なる光ある、花々しい年に立つて、僕等はうんと手足を伸ばさなくてはならぬ。あゝ懐かしい新年よ、希望ある年をむかへよう。僕は新年の年頭に立つて此の樣に感じた。 一九二三、一二、二三作



◇……學校名不明六年……◇ 門昭芳子



◇……東大門校五年……◇ 米澤義技

童謡

お正月

元町三年 市川貞子

うれしい〳〵
お正月
松竹たてて
はねついて
朝はおとそを
いただいて
みんなを見ると
うれしそう
うちには毎日
おきやく樣
ほんとにうれしい
お正月

栗の實

三坂五年 齋藤正明

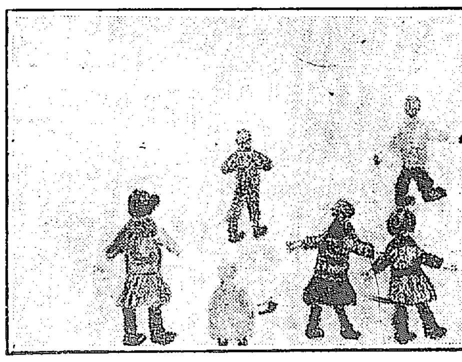
ぎざ〳〵とげの着物着て
中には小さな栗の實が
三人づれではいつてる
たかい〳〵木の上で
風にゆられてこわからう
早く風よ止んでくれ

ゆめ

西大門三年 河添浩一

ちら〳〵〳〵と
ふるゆきよ
やまにも野にも
まつしろに
みんなのすきな
クリスマス
さんたくろすの
おぢいさん
あかいおべきた
おぢいさま
ゆきのふるのに
てく〳〵と
おほきなふくろ
かたにかけ
けむりだしから
おりて來て
うんともて來た
おくりもの
わらつてくばる
おぢいさん
あゝありがたう
といひながら
とらうとすると
目がさめた
これはゆうべの
ゆめだつた

◇……三坂校五年……◇ 植田芳夫



◇……學校名不明二年……◇ 松原久子

ミカ月サマ

西大門一ノ三 村松毅

クラクナルト
ミカ月サマガ
アカルクアガル
ミカ月サマハ
オフネノヤウダ

やきいも

西門四年 稲川貞

ーよこりすとうぶの中をのぞいてにいさんがまるやきいもにひばしをつゝこんで『やけたやけたうまいぞうまいぞ』といつて、出しました
私たちはすぐにおいもにくひついて
『あらにいちやんの顔もねえちやんと顔もこげいもがついてとんとつそうぢやのやうだわ』と私はいひました
にいちやんが『早いやつだなあおつりが』ぷーんと一つ私たちがにげ出してゐるまに、にいさんは一人でしめ〳〵といつてほうばつてゐらつしやる

アメリカの父様

西門二年 白井正子

私の父樣は、アメリカへ行つていらつしやいます。時々、小づゝみをおくつたり、おてがみをくださいます。私も日ようには、父樣へおてがみを上げます。こなひだ父樣から、おくつてきた小づゝみの中には、何がは入つて居たでせう。それはご本でした。

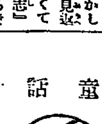
五さつ、は入つて居ました。私はその時うれしくて、うれしくて、たまりませんでした。

父樣はアメリカのプリンストンの學校でべんきようして、いらつしやいます。

プリンストンの學校では、りすがゐます。私は父樣が早くおかへりになればよいとおもひます。

童話 駒鳥と酒 (下)

小川未明



小僧は、德利の中へ酒を入れてお爺さんのところへ持つてまゐりました。

『お爺さん、柱にかゝつてゐた德利に、お酒を入れて持つて來ました。どうか、召し上がつて下さい』と言ひました。

お爺さんは、喜びましたが、そんなことをしてもらつては困るからと言ひました。

『私は、町へ草鞋を持つて、行つて賣りに酒を買ふと思つて、德利を柱にかけて置いたのだ』と、お爺さんは言ひました。

小僧は、主人の言ひ付けだからと言つて、酒のはいつてゐる德利を又柱にかけて。

『お爺さん、酒がなくなつたら、矢張り、この柱に、空の德利をかけて置いて下さい』と言ひました。

お爺さんは、酒が好きでしたから、折角持つて來たものをと思つて、早速、德利を取つてすぐに飲みはじめたのであります。

酒を飲むと、お爺さんは、ほんたうにいゝ氣持になりました。いくら、家の外で、寒い風が吹いても、雪が降つてもお爺さんは火の側らで、酒を飲んでゐると暖かであつたのです。酒さへあれば、お爺さんは、寒い夜を夜業までして草鞋を造ることもしなくてよかつたので、それからは夜も早くから床にはいつて眠ることにしました。お爺さんは、眠りながら吹雪が、窓に來てさら〳〵と當る音を聞いてゐたのであります。

明る朝、お爺さんは、眼をさましてから、戸口に出て、柱を見ますと、昨日空の德利を懸けて置いたのに、いつの間にか、その德利の中には、酒がいつぱい入つてゐました。

『こんなにしてもらつては、氣の毒だ』と、お爺さんは、はじめのうちは、思ひましたが、いつしか毎日、酒の來るのを待つやうになつて、仕事は、早く片付けて、後は火の側で、ちびり〳〵と酒を飲むことを樂しみとしたのでありました。

ある日のこと、お爺さんは柱の所に行つて見ますと、空の德利が懸つてゐました。

『これは、きつと小僧さんが忘れたのだらう』と思ひました。

しかし、その翌日も、その翌日も、そこには、空の德利がかゝつてゐました。

『あゝきつと長い間、酒をくれたのだからもうくれなくなつたのだらう』と、お爺さんは思ひました。

お爺さんは、また、自分から働いて、酒を買はねばならなくなりました。そこで、夜は、おそくまで、夜業をする事になりました。

『なんでも、他人の力をあてにしてはならぬ。自分で働いて自分で飲むのが一番うまい』とお爺さんは、知つたのであります。

しばらく經つと、酒屋の小僧がやつて來ました。

『實は、先達て、また駒鳥が、どこかへ逃げてしまつたのです。もう、こゝへはやつて來ませんか?』と、言ひました。

お爺さんはそれで、はじめてもう酒を持つて來てくれんことが判つたやうな氣がしました。

『どうして、大事な駒鳥を二度も逃がしたのですか』とお爺さんは怪しみました。

『こんどは、主人が、ぼんやり籠の戸を開けたまゝ脇見をしてゐるうちに、外へ逃げてしまつたのです』と、小僧は答へました。

『それが、もし、お爺さんが逃がしたのなら大變だつた』と、お爺さんは、笑つて、

『どんな人間にも、あやまちといふものがあるものだ』と、言ひました。

お爺さんは、毎晩、夜おそくまで仕事をしたのであります。まだ折々、ひどい吹雪もしたのでした。お爺さんはうす暗いらんぷの下で、藁を叩いてゐました。吹雪がさら〳〵といつて窓に當る音が聞へます。

『あゝ、こんなやうな晩であつたな。駒鳥が吹雪の中をあかりを目あてに、飛び込んで來たのは』とお爺さんは獨り言をしてゐました。

ちやうど、その時、折も折、窓の障子に來て打つかつたものがあります。ぱさ、ぱさ、ぱさ、お爺さんは、その刹那、すぐに小鳥だ……駒鳥だ……と思ひました。そして、急いで、障子を開けて見ますと、窓の裡へ小鳥が飛びこんで來て、らんぷのまわりを廻り、いつかのやうに、箪笥の上に降りて止まりました。

『駒鳥だ!』と、お爺さんは思はず叫んだのです。

お爺さんは、この前にしたやうに、また籠の空いたのを持つて來てその中に駒鳥を移しました。それから、餌を掛つて、青菜を取り、又川魚の燒いたのを拵つたりして駒鳥のために餌を造つてやりました。

お爺さんはその駒鳥はいつかの駒鳥であることを知りました。そして、それを酒屋の小僧に、渡してやつたら、主人が、どんなに喜ぶだらうかといふことを知りました。

――それはかりでありません、お爺さんは、この駒鳥を、酒屋へやつたら先方は、又大いに喜んで、今までのやうに、毎日、自分の好きな酒を持つて來てくれるに違ひないといふことも知りました。

お爺さんは、どうしたら、いゝものだらうと考へました。駒鳥はお爺さんの所へ來たのをうれしがるやうに見へました。そして、その明くる日からいゝ聲を出して鳴いたのであります。

お爺さんはこの駒鳥の鳴き聲を聞きつけたら、今にも酒屋の小僧が飛んで來るだらうと思ひました。

寒い、さびしかつた、長い冬ももうやがて逝かうとしたのであります。たとへ、吹雪はしても、空の色に、早や、春らしいうす紅の色が、晩方などに見られることがありました。

『もう、ぢきに春になるのだ』とお爺さんは思ひました。

山から色々の小鳥が、里に出て來るやうになりました。日の光は一日ましに強くなつて、窓に明く輝いて來ました。お爺さんは駒鳥の籠を日向に出してやると、さも嬉々とした大空の色をなつかしむやうに。駒鳥は頭を傾けて止まり木にとまつてぢつとしてゐました。

『あゝ、もう春だ。これからはさう大した吹雪もないだらう。昔は廣い大空を飛んでゐたものを、一生こんな狭い籠の中に入れて置くのは可哀さうだ。お前は、籠から外へ出たいか?』と、お爺さんは駒鳥に向つて云つてゐました。

駒鳥は、頻りに、外の世界に憧れてゐました。そして、雀や他の小鳥が、木の枝に來て止まつてゐるのを見て、羨ましがつてゐるやうな樣子に見へました。

お爺さんは、酒屋へ行つて、籠の中に住むのと、又、廣い野原に出て、風や、雨の中を自由に飛んで住むのと、どちらが幸福であらうか、と小鳥について考へずにはゐられませんでした。

又、酒の好きなお爺さんは、『この駒鳥を酒屋に持つて行つてやれば、これから毎日自分は、樂をせずに、酒が飲まれるのだ』と、いふことを思はずには居られませんでした。しかし、お爺さんは、ついに、駒鳥に向つて、『さあ、早く逃げて行け……そして人間に捕まらないやうに、山の方へ遠く行けよ』と、言つて、籠の戸を開けてやりました。

もう、氣候も暖かくなつたので、駒鳥は、勇んで、夕暮方の空を、日の落ちる方に向つて飛んで行きました。その後、また、吹雪の夜はありましたけれど、駒鳥は、それきり歸つては、來ませんでした。

產婦人科 小兒科 女醫 遠山醫院 京城永樂町二丁目交番所前 電話本局一六三四番

性學大家 澤田順次郎先生新著
女の裸體美
◇四六判◇洋裝美本◇裸体寫眞◇及挿圖入◇
▼東西古今の裸體美人を悉く網羅し奇觀燦爛たり
特價金壹圓五拾錢
正文社

大辰齒科醫院 大辰親夫

吉川大學堂本店
眼鏡類一式及金屬品金銀流記念品等

鼻耳內服藥 チクノール
蓄膿症に効顯偉大
鼻
適應症 蓄膿症、肥厚性鼻炎、慢性鼻加答兒、中耳炎、アデノイド其他鼻耳疾患
價十日分三圓五十錢、廿日分六圓五十錢、送料十二錢 殖民地四十五錢
新聞名記入申込者に「鼻耳の衛生」無代進呈
東京西巢鴨町宮仲二六六八
製造發賣元 三鱗製藥社
振替東京四壹壹六番
特約店 京城本町山岸天佑堂 其の他各地有名藥店に有り
新聞品紹介アクノール名稱御注意

仁川 上城酒造場

てんかん
病や子供ヒキツケで困る方切手三錢送れ永年の難病も自宅で治す事を無代で敎ゆ
名古屋市中區南小川町 救生館

痔疾專門 入院隨意
京城久枝肛門病院
京城明治町二ノ三 電話本局二一〇二番

金牌受領
本椿香油
髮黑長髮を得る

信川溫泉
新築落成 茶代廢止
今回、二階建新築落成し清爽なる部屋増加す。溫泉は透明にして効驗頗る顯著、而も沙里院驛より輕鐵の便あり、自然の風光に富み文化的娛樂機關の設備あり
特等六圓、一等四圓、二等三圓、三等二圓半
【茶代廢止】
經營者……平壤 料亭玉屋 櫻屋旅館
信川溫泉ホテル

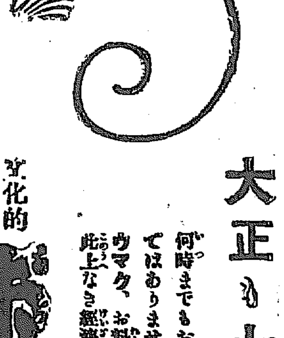
日本モートル
京城 富田商會

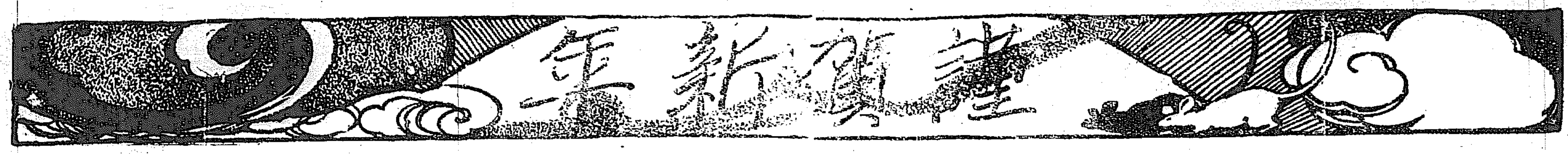
フクロ フクロ
胃ブクロの健全は食後に仁丹
消化と毒けし 仁丹
金言 体あつての黄金よ玉よ (仁丹標語)

驚クベキ特効藥
酸素丸
胃腸病、心臟病、神經衰弱、ヒステリー、子宮病、血の道、月經不調、糖尿病、卵巢の病、睾丸の病、慢性淋病、慢性消渇、尿道狹窄、月經時の疼痛、下腹部の硬塊、常習的頭痛、常習的肩の凝り、眩暈又は便秘、產後の諸病、貧血衰弱、腰痛、淫萎、不姙症、胃又は腸の病、バセードー氏病
酸素丸本舗 南滿洲本溪湖 中西亮 振替大連三四五三番

日英米佛專賣特許
池田理學博士發明
大正も十三年
何時までもお料理に苦勞を追ふ時代ではありません。味の素はハヤク、ウマク、お料理が出來て便利重寶、此上なき經濟的調味料です。
文化的調味料
味の素

鎭咳祛痰劑
ブロチン
特長
1 祛痰と同時に鎭咳の效顯著なること。
2 味不良ならず、小兒も喜んで服用すること。
3 從來の祛痰劑に通有せる不快の副作用を缺くこと。
4 無毒性にして其應用極めて安全なること。
肺結核、急(慢)性氣管枝炎、喘息、喉頭結核、及び其他の急(慢)性の呼吸器疾患にして咳嗽喀痰を伴ふ諸症並に百日咳に推奬せらる。
◆散末、錠劑、液劑の各種あり。 ◆各地有名藥舗にて販賣す。
◆吉村博士、内藤學士を始め諸氏の實驗報告抄錄集御申越次第進呈す。
三共株式會社
本社 東京市日本橋區室町 製造所 大阪市淡路町堺筋 出張所 臺北市表町一丁目





丸山鶴吉

有賀光豊

松井房治

櫻井小一

谷多喜磨

井内勇

[illegible]

荒井實太代

[illegible]一

武者錬三

堀謙

澤村言一

中屋重樹

西村孚一

[illegible]

御成婚記念として 電鑄板を頒布する
造幣局での新しい試み

【大阪電報】造幣局では御成婚記念メタル及び銀盃を造つて近く一般希望者に頒つ豫定で昨年末から鑄造に着手し目下盛んに鑄造して居る此等物品及價格等は數日中に發表される筈であるが同局ではこれと同時に我國で未だ試みられた事のない電鑄板をも製作して目下佐藤主任技師の手で準備中である

この電鑄板と云ふのは同局でメタル及銀盃の刻印を製作する爲め原形として造られたる大きさ一尺二三寸位の攝政宮殿下及び良子女王殿下の御肖像に菊の御紋章及桐の模樣を配したる石膏形を其儘使用して其表面に電氣鍍金をなし其鍍金を型から剥ぎ取つて造るもので一般に之は額に入れて室内裝飾に使用するものである

この電鑄板は近來外國に於ても製作が夥いだけに非常に好評を博してゐるものであるから恐らく我國でも好評を得るだらうと言はれて居る尚同局では今後更に精巧を極めた各種の電鑄板を製作して市場に賣出す計畫で目下其準備を急いでゐる

御講書始 十六日行はせらる

【東京電報】宮中に於ける新年御講書始めは來る十六日午前十時鳳凰の間に於て行はせらる可き旨仰出された當日の進講者及び題は左の如くである

國書 東京帝國大學教授 上田萬年
同控 東京帝國大學教授 萩野由之
洋書 東京帝國大學教授 小野塚喜平次
同控 學士院會員 一木喜德郎
漢書 京都帝國大學教授 狩野直喜
同控 宮内省御用掛 西村時彦

宮中杖を許さる

【東京電報】畏き邊りの御思召により左記老臣の故を以て今回特に宮中杖を差許された

子爵 井上良馨
同 石黒忠悳
男爵 武井守正

東宮女官長は島津治子刀自

【東京電報】來る十三日の御慶事當日島津治子刀自は東宮女官長(二等)に任ぜられ以下それ〴〵任官さるゝ筈

支人の民兵五十名を雇ひ入れ專ら馬賊防禦に努めてゐる然して其費用は各戸五等級に分ち一等戸壹圓二等七十錢三等六十錢四等三十錢五等二十錢宛徴收し民兵一名月五圓宛を支給してゐる斯くして何れも自衛に專心苦心してゐる移住鮮人こそ實に氣の毒である

支那商船襲はる 英人船長被害

【東京電報】某所著電に依れば一月六日在宜昌の英國領事が本國より受けたる公電によれば支那商船々長英國人ブランドは宜昌より重慶へ遡航の途中一月四日土匪の襲撃を受け殺害されたとの事であるが詳細は未だ不明である

沙里院の小火

七日午後九時半頃沙里院東里安田印刷所鐵工部屋より出火し目貫の場所とて一時大混雜を呈したが時刻早かりしと無風であつた爲め間もなく消した(沙里院)

苦力の大怪我

七日午後一時頃新義州驛を去る西方約八丁の引込線で山東生れの苦力徐永早(三二)が線路作業進行しつゝあつた荷物車に觸れ顔面其他に數ケ所の打撲傷を負うた生命覺束なし原因は被害者の過失らしい(新義州)

全鮮歌留多大會

期日 來る二十日午前十時
場所 黄金町二丁目 武德館樓上
主催 本社
會費 金壹圓(但し夕餐呈上)
申込 十七日締切(申込と共に會費を申受く)
賞品 (一等より十五等迄金銀銅賞牌並に副賞品)

◇大會競技規約 例年通り現行東京歌留多協會の規約を適用し細目に亘りては各派より三名の大會審判員を選出し協議の上解決す
◇優勝旗贈呈 當日競技前に川邊會の優勝旗返還式を擧げ競技終了後最優勝者に優勝旗贈呈式を擧ぐ

若き日の清浦宰相
初戀の娘に喰はされた 肱鐵砲が出世の基
經文を忘れて途徹もない諸經 生涯に一度の遊蕩

おぼろに霞んだ春宵の京の町を、美しく着飾つた半玉を兩側にはんべらせつゝ由良之助もどきにしやなりしやなりと押歩いた廿一二の若僧―、これが清浦さんの後にも先にもたつた一度の

遊蕩時代 のすがたであつた、熊本縣は片田舍の明照寺に五男と生れた手に負へぬ腕白小僧の普段坊の清浦さんもさすがに咸宜園塾での秀才と唄はれた程あつて一躍寺格の高い熊本の淨行寺に養子となつて來た其の明照寺の田舍寺から當時熊本の城下で一二と云はれる大寺の養子となると云ふ事は其頃破天荒と云はれる事であつた

淨行寺の養子となつてから稍暫く名を收めたが爲に清浦さんが今もなほ忘れられない戀の痛手があつた、それは養子の

積善の嫁 となるべきおきぬと云ふ娘さんがどうしたものか積善を嫌つて鳳識や檀家や親類が寄つて口をすぼつくして説き伏せ様としたが、いやぢや〳〵の一點張りで手の附けやうもなかつた周圍の人も困つたが御本人の普段の腕の痛は何うであつたらう普段は全くの初戀に破れて了つたので一旦纒まつた養子となつて戀に破はれては披露へ顏出が出來ない破目に陷つたものである

初戀に破れた積善は斷然として發奮し撰染の法衣をかなぐり棄てて同時に積善の名も打捨て『俺は出世して來る』と云ひ捨てして僅かな旅費を携へて京都へ向つたのである、其當時迄は寺院には姓がなかつたので積善は自分が其にして居た『清浦』を其儘姓にして京都で初めて

小學教員 をしたのが同氏の出世の振り出しであつた清浦さんが淨土の身にあるまじきダダを捏ねて忽ちにして書を散かしたのも彼地のための手段に過ぎなかつたしかもその場所はうまくあたつて小學校どもり首領がお顧問となり、かねての希望どほり東京に遊學することとなつた、きらびやかな京都の賑ひの下からボロの[illegible]

白足袋と いふ奇拔な衣をまとつて日田の町を洒々然々と練り歩いたのも、宗道、蕭行等の同郷人と一緒に、眞白い羽織に白足袋といでたちで、水郷の夏祭りを彩る車に打乗つて『ありや何じやい』と平凡な田舍人の目を驚かしたのも京都から再び咸宜園に戻つてきた清浦さん擬律のおめかしであつた、先の大審院長横田國臣が淡窓先生の甥『戰ひ』といふので、何かにつけて威張り散らすのが癖で、周圍をいやといふほどにコツぴどくぶん擲つたのもその豪邁な頭は清浦さんであつたし、日田の町の小學訓導一といふ先生の家へ不幸があつてくやみに行つた折、讀行坊と二人で阿彌陀經を上げたが、經文を忘れて仕舞つたので窮餘の一策として『山高きが故に貴きにあらず木あるを以て貴しとなす』といつた樣な文句を百遍も唱へて土人から『久しぶりにありがたいお經を聞いて愉快であつた』と妙な褒められながら酒肴の馳走にありついた所謂坊主も、その頃清浦さんらしい所業ではある。想ふに大正老後の清浦さんが今も尚忘れられないのはおきぬさんの

肱鐵砲を 喰つた事であらう今日にして思へば此肱鐵砲が動機となり全く清浦の今日あらしめたもの、だ假りにも其の儘淨行寺の養子に收まつて居たらば今も尚同寺の老住職として一生を終つたかも知れない人間萬事塞翁が馬とはよく言つたものである『俺は出世して來る』と熊本の天地を見捨てた普段坊の積善は斯くして大正の大宰相の位に就いたものである。

珍しい暖氣に 喜ぶ人困る人
この氣温は大正五年以來の記録

『大變今年は暖かい』『實に暖かい』と云ふ會話が各所で聞かれる、毎年今頃開催される漢江のスケート大會も、こんなに暖かいのでは見物人の千人も散つたらメリ〳〵と行きさうだと云ふので氣候の寒くなるのを待つてゐるとの事だそれからこの結氷を資本としてゐる天然氷會社も只今の處では、氷の採取も出來ず弱つてゐるらしい、氷の採取について周防道廳衛生課長は語る

『こんなに暖かくつては、氷の採取は出來ぬ、よし採取した處にしても到底用備れになるだらう然しこれからズツト寒くなつて嚴寒が十日も續けば採取出來るだらうと思つてゐる、更に角寒い暖かいの採取が出來るだらうと思ふ、人間では何うにも仕方がない力だから仕方がない』

京城測候所では本年の暖かさに就て記録を調べながら語る

『成程、本年は暖かい本測候所の創立なる明治四十一年からの記録によると大正五年が一番暖かつたのである、同年一月八日の温度最高が十三度二分であつたに比して本年一月八日は零下二度である、これに比しても大正五年の方が大變暖かかつたのである、更に角本年は昨年や一昨年に比して暖かい事は暖かいが、測候所創設以來の暖かさと云ふ譯ではない』

民兵を傭うて
馬賊の防備に努む 撫松縣の移住鮮人

鴨綠江對岸撫松縣に在住する鮮人は移住鮮人四十戸散在してゐるが何れも支那官憲と交渉し其取締を支那地方官憲にのみ信頼出來ぬ[illegible]

大倉組對川崎造船所
空前の大差押
辯護士は準備に取りかゝつた 果して實現するか否か?

【大阪電報】大倉組對川崎造船所の控訴事件は大阪控訴院で審理されることとなつたが川崎側は假執行停止の申請を出したものの巨額の保證金を積まぬので控訴院でも却下の筈であつた處川崎側は九日一先づ右の申請を取下げる事となつたそれで大倉側は神戸地方裁判所に保證金百七十萬圓を積めば何時でも假執行が出來る事となつたので大倉側の辯護士は直ちに差押への準備に着手した然し川崎側でも何等かの對策を講ずる事であらうが差押へが實現されればそれこそ空前の大差押へで川崎側が案じ顔つて停止命令の理由にあげてゐた造船中の軍艦にも封印が施される樣な前代未聞の奇觀を呈するであらう

鴨綠江氷上の 貨物運搬に
支那側から因縁をつける

中江鎭對岸の鴨綠江の結氷中に於ける木材其他貨物の氷上運搬は橇を以て唯一の運搬となし此の運搬は何れも人の手に依つて經營され來つたものであるが去る七日當地江岸通りの運送業者山形組が數十臺の橇に依つて原木の氷上運搬中支那側六道溝派出所員は突然鴨綠江界內の氷上運搬に使用する橇に對しては爾今一臺につき一ケ年銀四十二錢を納税せよ若し應じない時は營業を停止すべしとの事に營業者は全く寢耳に水で此の旨を日本官憲に屆け出でたので安東領事館よりは早速支那官憲に何等通告なくして獨りに納税を迫り運搬業務を停止せしむるは不當であると抗議を申し込んだ(安東)

貴金屬類を
チヨツキに包んで 道廳前に捨つ

去る三日午前九時頃慶北道廳前附近の路上に鮮人用チヨツキに金時計十九個と金縁眼鏡十五個を包み捨ててあるを大邱京町二金某が發見し直に大邱署に屆出たが前記の各品は去月十七日正午頃慶北道廳の貸當で大邱元町一丁目時計商東京堂が其金屬取扱店に於て約三千餘圓の盜難に罹つた被害品なる事が判り品物は被害者に引渡したが本件は其後大邱署に於て極力捜査中なるも今以て其目星さへつかず該犯人は其盜品の始末に困り遂に捨てたもので係官は全く素人の犯行だと睨み此の方面に就て目下極力捜査中であると(大邱)

本町署の武道始め

門松の竹を盜む

大邱 府内では元旦以來官廳の最高各官舍を始め市內商店至る所に於て門松が飾られてあつたが此の門松に嚴しく飾つてある竹を盜む不屆き者があるので大邱署では極力犯人搜査中の所府內本町の[illegible]方の門飾りの竹を盜まんとする現場を押へられ取調べたるに小泥棒であつたと更に余の竹や其他の竹使用者に對しても目下尚餘罪取調べ中(大邱)

師走をよそに
岡田館通ひをした人

京城府立圖書館の十二月の状況を見れば普通閲覽者內地人男三千七百九十一名內地人女百三十八名鮮人男四百六十四人計四千三百九十八人で一日の平均は百九十八人餘と云ふ數になり前年の同月と比較すれば一日の平均五十二人餘の增加になつてゐる[illegible]昨年は文學及び美術等に關するもので最も少いものは工學兵事に關するものであつた又一日閲覽平均冊數は二百八十二冊餘である

扶殖農園の失火

去る六日午後八時四十分頃達城郡達城面東村農場に於ける扶殖農園[illegible]氏所有建物中の温突焚口より出火し板張り瓦葺家一棟を燒失して同九時三十分頃鎭火した大邱署より數名の警官出張し消防に努めたる結果幸ひに大事に至らず鎭火した損害約三千圓(大邱)

工事場へ 墜落者が續出
設備不完全の爲

昨年來より工事中の金州上水道鐵管工事は岡林組の請負中であるが管理設備不完全なる爲め墜落者頻々として續出し既に三十人は誤つて墜落慘死を遂げたが[illegible](金州)

新春巡禮
勞働の體驗をしたいと言ふ 一青年の見た勞働生活
病人三人を養ふ舘野君 (その二) 兄イ昨夜は濟まなかつた

彼等は世に言ふ郷郷土役者で一日働いた賃金は全部その日に使つて仕舞ふ明日の事すらも彼等は考へない、その日仕事がなかつたら食はないで濟ますと言ふ風にしてゐるかも知れない、そんな風に習慣づけられてゐる、一夜も缺かした事がない、然し酒だけは缺かさない、又飲むと何處からか『マツカリ』を飲んで騷る、そして盛んに管をまくそれがどうかすると午前四時頃まで續くことがある

◇

朝働きに行く時には早く起きるけれどさうではない時には朝は遅い晝間は大抵寢て居らない譯をしてゐる、夕方になると騷らいてゐる者が歸つて來て觀鬥の樣に酒し、その喧しい事が聞く所に言ふに言へぬ興味がある

◇

深夜になつて醉つ拂ひが管を卷き始めて騷ぎそれに活を與へる、醉つてゐるから注意した人間に腹つてかゝる、無な言葉や皮肉な言葉つゞく、終に掴み合ひとなつて大喧嘩になる、あらゆる汚い言葉が相互に取り交はされて彼れて眠る一夜明くれば彼等は又もとの勞働者になつて二人が出逢ふと『兄イ昨夜は濟まなかつたなあ』で萬事は解決されるのである

◇

彼等は一錢五錢の錢は持つても碌なくなつても彼等は酒を存ふ[illegible]ことを忘れない少々金がなくなれば近くの酒屋へ行つてロハの酒を飲む、こんな事でもよい〳〵の習慣を極め込む、この時に同居人の中の誰か一人が所謂代金の支拂ひに行く、無錢飲食した代金を拂へば事々濟むのことであるから特殊の犯罪でない限り警察でも放免する

◇

合宿所で宿泊所の一階寢直室に寢てゐる人が三人ある、病氣であるから勿論働くことは出來ない、働けないから賃金は得られぬ、彼の行く道は餓死するより他はない所が彼等の患者は病者の食べる者を口にし、お醫者の診療を受けてゐる

◇

この宿泊所に舘野と云ふ人がある中學を中途で退つた其の上手な人であるが氣に其道に入り上げた金持な美丈夫である、彼れの全身は低級なそれ自體であるかの樣に醉態を極める不平の發する處を濟ましてゐるが、その際は聞かない番に引張られるが、その態度を見ていてゐると、『ハイ』と返辭をする時は直立不動の姿勢で軍人の型が現れる『聞いて下さい宿直殿』と言ふ中に彼が在營の頃の生活が偲ばれる、態度も態度も立派なものである、彼は少しも酒を飾らない、寧ろ勞働者を憎む所がある

◇

ある時舘野が醉つて喧嘩をして交番に來た時、同じ宿泊所の舘野は來た警官は彼の態度言葉にそれを發見して『舘野お前は立派な身體を持つてゐて少し地道に稼いで金を貯めて一家を持つたら何うか』と注意したら彼舘野は答へて『警官殿、あの宿直室に寢てゐる三人の人々は誰が世話します』と言つたと言ふ、世間の醜悪な墮落を超越してゐる所に彼の性格の躍如たるものがある

◇

宿泊してゐる人の年齡は二十歳から三十歳までが一番多いが二三人五十の坂を越した老人がある、この手合は矢張り若い者とは氣が合はぬと見えて、彼等のグループを離れて一人呆つこにしよんぼりと膝を抱てゐる、世の中の甘い味も辛いも皆んな知り盡し味はひ果した超人間のやうな感じがする

年賀狀は全鮮を通じて
三割位減つた
しかし收入は一割位の減少 蒲原遞信局長の談

本年度に於ける朝鮮の年賀郵便取扱状況に就き蒲原遞信局長は左の如く語る

本年度は特別取扱を廢止された結果年末から年頭にかけて一時に多數の引受を見ることになり京城局の如きは卅一日中の引受數約五十萬通に達し前年度の特別取扱期間(十二月十五日から卅九日迄十五日間)に於ける引受總數の約三分の一に相當する引受があつた此の状態は全鮮各地共略同樣であつて卅日卅一日及元旦の三日間に於て引受けた數は本期引受總數の七割以上に達して居る

全鮮を通じた取扱總數は各郵便局所からの報告を取纏めた上でないと正確なことは分らないが京城外十二個所の主要都市に於ける本月七日迄の實況を見ると引受數に於ては前年度に比し平均二割の減少を示して居るが此の減少歩合は全鮮各局共略同樣の状態であると推定されるから本年度の年賀郵便引受總數は前年度の千九百卅七萬通が約五百五十萬通に減じた譯である然しこれを郵便切手類の賣捌高から見ると本年度に於いては三錢又は二錢の切手を貼つた年賀狀の郵便が著しく增加して居るので收入に於ては約一割餘の減少に止まつて居る此の状況に就ては調査中であるが多分內地に於ける年賀狀を差出方に就ての機が朝鮮迄波及して來たよりも此の方が速く屆くといふ考へから此の現象を見るに至つたのであらうと思はれる然し本年度に於ける年賀郵便の取扱状態は當局に於いて十分考慮し又從業員の臨時增員其の他出來得る限りの手配をしたので特別取扱ひを廢止されたにも拘らず極めて順調に運ばれ少しも遲延遺漏の事故を生じなかつた

それから年賀郵便の配達數は本月七日迄の實況に依ると前年度に比し約四割の減少であるが內地から來るのは今尚續々と到着しつゝあるから今後當分の間は此の現象が續くであらうと思はれるさすれば結局に於ては三割內外の減少に止まるであらう尚引受數と配達數とに減少歩合の差を生じたのは內地關係の年賀郵便が減少した結果であつて內地に於ける引受状況は前年度に比し約五割の減少だといはれて居る

蓮沼主幹歡迎會

修養團京城支部の今月の向上會は都合に依り十三日に繰延べ同日午後六時から京城俱樂部に於いて朝鮮本部設立の要件を帶びて入城せる蓮沼主幹及び修養團總務部長の歡迎を兼ね會を開く由であるが會員以外の有志も參加されむことを希望すと申込は十三日正午までに內本茂雄氏(電話本二八二七)へ申込まれたしと因に會費一圓五十錢當日御持參のこと

守備隊の耐寒行軍

安東守備隊獨立守備第四大隊では來る十三日より十日まで安東縣沿線草江口、[illegible]、栗家堡子附近一帶に亘り耐寒行軍を爲すことに決定し目下夫々準備中であると(安東縣)

鴨江採氷取締嚴重

鴨綠江に於ける氷採取は例年の通り一月より許可したが本年は特に其食料用と貯藏用とを問はず嚴重な檢査を行ひ又採取場も夫々指定の場所に依らしむる筈であると(安東縣)

倫敦埠頭大火

【倫敦七日發電】七日午後倫敦埠頭に二百五十年來になき大火起り附近に貯藏した珈琲、茶其他の燃燒物を貯藏した大倉庫が燒落ちた

演藝案内

喜樂館 京城本町一丁目 電話本五九七番 直營
十日より提供三日間 滿員御禮の爲特に 日活特作品 一寶冠伊太利メ・ガ再興第一 二卷
日活向島特作超大作 藤野 上島 大井 衣笠 寫杉 島田 主演
悲劇 **女大波** 全六卷
戀と義理とを巧に描寫したる青年の苦境興間に苦しむ末に人其間に迷ず好色漢は已と成る大團愛悲劇である
餘興 [illegible]

曾我兄弟 全八卷
日活京都派超大作 尾上松之助一派總出演
[illegible]

大正館
松竹特約 日日連夜 當る五日より封切 大映畫 松竹キネマ會社撮影 封切 [illegible]
『不穩の旅行』全六卷 富士島天勝 主演
大活ワーナー・ブラザース映畫 意氣天を衝く 全六卷
松竹キネマ加茂特作品 サンデー毎日所載 呪はれの日 全六卷

黄金館
竹キネマ直營 毎日連夜 九日より
突然!!表れたる三大名映畫公開
現代劇 鳴呼 第十號 全五卷
大島文作 安東(?)の女 歌川八重子 松本泰輔
大島健三 五味國雄 氏
何人も多き人生の悲みの映畫の偉大なる價値
米國チヤールス映畫 チヤップリン全三卷
中川紫朗氏監督 時代映畫 **水郷の唄** 全八卷
琵琶師 小櫛 三浦義郎 [illegible]

中央館
マキノ映畫 毎月連夜 一月十日第二回特選映畫週間
當 大喜劇 夜半の銃聲 全五卷
牧野省三氏監督 小笠原隼人 全五卷
市川幡谷 片岡松太郎
大悲劇 お宮の巻 全五卷
一月十七日 [illegible]

右上映の通り 京龍館 ヤマノキネマ直營 中央館 非常營業 電話龍山三一二番
メンバー イロハ順
元神戸錦座主任辯士 岩井快堂
主任 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番 一月一日ヨリ
苦手揃大一座
[illegible]

資本金 參千萬圓
年賦又は定期償還方法に依る勸業資金貸出の外一般銀行業務を取扱申候
株式會社 朝鮮殖產銀行
京城府南大門通二丁目 電話本局長六〇一、四 振替貯金口座特四〇九番
頭取 有賀光豐
支店及派出所
京畿道 忠清北道 忠清南道 全羅北道 全羅南道 慶尚北道 慶尚南道 黄海道 平安南道 平安北道 江原道 咸鏡南道 咸鏡北道 [illegible]

醫學博士 岡崎桂一郎先生創案
人體營養の素
ヴィタミン ABC含有
ウイタシユム 寶薬
百五入二圓五十錢 千五入五圓
釜山辨天町 藤田藥鋪 電話長一八一番

時計並貴金屬
仁川本町
糸岐商店
電話長三七番

內科一般 入院隨意
龍山漢江通
長谷川內科醫院
電話龍山五〇四番 元松村病院跡
醫學博士 長谷川興一郎

宮內省御用達
千葉縣銚子港 銚子醬油株式會社釀造

ヒゲタ醬油
代理店 京城明治町二丁目 山邑酒造株式會社京城支店 電話長八五九番・一四五四番 振替貯金口座京城七五五番

价川輕便鐵道
大正十二年七月一日改正

トロツキーの病状
露支文化事業 諮問委・補缺
憲政決議院外團

災後の戀（三十三）

上司小劍
挿畫 伊東深水筆

バラック（廿一）

翌日は、どうも足が痛いので、光多はもう一日休養して、明日出立しようと、花枝の氣を察ねながら言ひ出したが、花枝は一も二もなく賛成して、この日一日を新婚旅行の如く樂しく暮したいと、身體を躍はして喜んだ。それで、其由を女中に傳へると、女中は快よく承諾して、座敷をば二階の隠居な一室に取りかへてくれた。そこは四疊半の小さな室で、全く秘密室のやうにちよつと其の所在が分らないやうに造られてあつた。九月の五日でまだなか／＼殘暑が酷しい、わけても今年は陽氣がおくれてゐるのだから入口が狹く窓が小さくて、風通しのわるいこの室は確かに他の座敷よりも温度が五度ぐらゐ高いのであるけれど、光多も花枝もそれを苦にしないばかりか、靜かで人目の遠いのを嬉しが

『さう。……』とだけ言つて、花枝は俯向いたが、其眼からは、はら／＼と涙がこぼれた。

『まア、この際だから、それぐらゐの覺悟はしてゐなければならないといふんだよ。二人の運命が必ず悲しいことになるといふぢやない。花枝さん、東京では今家を燒かれ、財産を失つて、ほんとに路頭に迷ふところもない野良犬のやうに雜踏を彷徨てゐる人が幾人あるか知れないんだよ。さういふ人たちのことを考へると、僕等のやうに、かうやつて地獄の恐ろしさも、火事の怖さも知らずに、酒の甘酒に醉つてゐられるのは勿體ないやうな氣がするぢやないか。』と、光多の話は、いよ／＼哀れつぽく、懺悔でもしてゐるやうに聞こえた。

『それはさうだわ。でもわたしたちが、今こゝで戀を棄たつて、家を燒かれた人たちが幸福になる

り、いよ／＼新婚旅行の心持になつて、笑顔を向け合ひつゝ、さま／＼の艶氣な話をした。

『あなた、わたしたちは幸福ね。』と、花枝は光多の胸を突き……

『この幸福が、いつまでつゞくだらうか。』と、光多はちよッと嘲弄つてみるつもりになつた。

『あらッ。』と、花枝は眼を瞠くして、『この人はこの幸福の永久に續くことを望んでゐないのだわ。きッとさうだわ。そんならいゝわ、わたし。』と、怨めしさうに光多を睨んだ。

『だつて、寸善尺魔といふぢやないか。明日ありと思ふ心の仇櫻夜半に嵐の吹かぬものかは、と昔の人も歌つてゐるよ。僕たちはこゝにかうやつて、今日一日の安を偸むことが出來ても、明日はもう悲慘の淵へ陷つて行かなければならないぢやないか。馬士には鬚の花も咲かないよ。我々の運命だつて、これからどうなるか分りやしない。』と、光多は抑め嘲弄りつゝりで言つた言葉が、しみ／＼と心の底から湧き出すやうな悲調になつた。

わけでもないぢやありませんか』と、花枝はもう家も親も忘れて、たゞ男に縋つてゐたいのであつた。

もう廢さう、そんな話しは。……何か別の面白い話をしようぢやないか。』と、光多は腰掛け窓から遙かに向ふの森を眺めた。見渡すかぎりまだ夏の景色で、秋の色はどこにも見られなかつた。

『お酒でも飲みませうか。』

『飲めて？』

『少しぐらゐ飲めるさ。葡萄酒があるといゝんだが。』

『そんな贅澤を言たッて駄目よ。日本酒を一本さう言ひませうか。』

『わたしだッて二盃ぐらゐ飲めてよ。』

『僕だッて、それぐらゐは飲めるさ。澤山飲んで醉つてみようか。僕まだ酒に醉つたといふ經驗がないんだ。』

『厭だから、お止しなさいよ』

俳句（內藤鳴雪選）

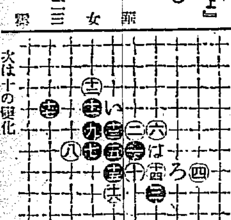
題『入營』一七一

○ 鹿水
入營の門に別るゝ老母哉　江那
○ 寮川
入營や顏凛として挨拶す　浪女
○ 京城
入營や賑く花火二三發　一二三
○ 京城
入營を送る小供の軍歌哉　榮碧

聯珠必勝法（三）

三郎 高橋棠玄述

第二圖



△十七勝後い
◇白十八より『ろは』の四追勝の如くなれども然らず却つて黑勝
◇十六及十四反對は四追勝

次は十の變化

京日文苑 投稿募集

短歌 題『士』 尾上柴舟選
俳句 題『如月』 內藤鳴雪選
川柳 題『椅子』 井上劍花坊選
締切 一月二十日（各題共）
賞金 天一圓半、地一圓、人半圓
注意 一題一人三句、各題別紙、用紙葉書、雅號住所明記、京城日報社『京日文苑』の事
其他 各地會報歡迎

あけぼの川柳社（平壤）

題『灯』 横山大納言選

落ぶれて恨めしい顔の灯　五九堂
紅い灯に映る白粉燒の顔　愛の人
不夜城の電氣まぶしい程光り　城岳
小灯が鉄守夜きれて居る　風來坊
山の手で辷つて光る灯雛の灯　闘守
待合の灯は誂へた様に照り　同
提灯が消えて秋をさぐるなり　清柳
新開地づらと並んだ夜店の灯　愛の人
提灯を切つて落せば腰が抜け　五九堂
假小屋に寒い灯がもる山馬園　闘守
不景氣を知らぬ様に灯が燈り　滿洲流

人
夕暮を泣いた顔に灯が燈り　風來坊

地
廓の灯男を騙す顔が見え　池心坊

天
灯ぼんやり立派な街になり　愛の人

選者吟
停電に神棚の灯を借りて來る

○ 龍山　抑天
飼ひ馴れし馬の別れや入營す
○ 開城　園竹
入營や故郷の空に雲迷ふ
○ 京城　水防
萬歳の聲浴びて人の入營す
○ 龍山　二秋
ぞろ／＼と旗又旗や入營す
○ 城津　黑翠
若棟の入營諾る老奴哉
○ 京城　且山
入營の旗風寒し里の道
○ 鐵城　桃治
入營の旗しづ／＼と小村行く
○ 仁川　文麓
破いては万朶の花と入營す
○ 大田　碧月
入營の旗幸高し驛の前
○ 平壤　朴堂
入營や雄しき母のおはしまし
○ 尚州　湖舟
入營を見送る人や松並木
○ 京城　五響
入營や我も日本男子とて

枯野初句會（京城 栗音居）

杜鵑はぐや電話を受け作ら　淡夢
立冬や鋏葉ばかりの鉢葵　綠童
膝ついて人相ひ居る枯野哉　想子（日）
遍突や飯に映る霄灸　耕牛
御降りや日跳ね起き足す朝机　友古
朝鮮街の軒皆低き師かな　架牛
双六や乳ふくませし若き母　梧凪
東風吹くや脐の靄ゆらぐ也　未刀
どんど終へて只時間の町なし　番茶
花杜杷に鶏打つ廊下續く哉　裸骨
軒の灯に降る粉雪し併ぬ縞く　霞
大リボンなびく紅ゐ杵奴六　有年
水仙に多の郷米て止りけり　宏堂
月の夜の馬車通し鬼枯野哉　栗音
左義長や軒並積みし汚れ雪
左義長の衰へ見えし燈かな
猿曳の綱のたるみや雪鑪
初曾我や酒たしなめる女達
猿曳の猿いたはりて去りにけり
猿曳の憩ひ合ひたる日向哉
双六の賽振當てしどよみ哉
若菜や双六による鑪の影
左義長に明け色暗く社頭哉
ふえてゐる人の齢をかぞへ初句會
猿曳の猿がむいたる後哉
欲しき帽買ふ夜の店出て鬼も
双六の折目こはゞる高さ哉

新しい出版物

國語アクセント講話（文學博士佐久間鼎氏著）從來閑却されてゐた國語の音聲の方面に教育者の注意を向けるといふことは新時代の國語政策の上から見て大事なことである文部省では夏季の休暇を利用して特に小學校の國語教授における發音統一のために講習會を催して來た其の講習會において著者が說述したところを多少取捨し一冊としたものである（二圓東京神田區表神保町二同文館）

▲經濟復興に關する諸研究（經濟資料一月號）復興と外資、歐洲戰時及戰後に於ける歐米諸國の爲替政策、歐洲戰後に於ける白耳義の經濟狀態　佛蘭西の戰後經濟復興施設、其他（本號一圓五十錢東京麴町區永樂町一ノ一滿鐵東亞經濟調査局）

▲外交時報（新年倍大號）本號一圓東京麴町區下二番町六八外交時報社▲國際知識（一月）本號六十錢東京芝區芝公園協調會館內國際聯盟協會▲教育の世紀（一月）五十錢東京府下西巣鴨町世紀社▲新天地（一月）四十錢大連市須磨町七二共社▲滿蒙（新年號）五十錢大連市滿蒙文化協會▲朝鮮及滿洲（一月）本號八十錢京城府南山町一ノ一四共社▲東洋（新年號）本號六十錢東京小石川區茗荷谷町東洋協會大學內東洋協會▲作興（新年號）三十錢東京小石川區大塚坂下町二一四講道館文化會▲ロシヤ文學（新年號）五十錢東京芝區三田一ノ二〇三田書房▲教育時論（十二月廿五日）十八錢東京市外上落合四七二開發社▲科學智識（新年號）本號八十錢東京四谷區左門町五五新光社▲京畿道警察時報（一月）二十錢京畿道警察部內朝鮮警察協會京城支部▲國産時報（一月）五十錢哈爾賓商品陳列館▲實業界（新年擴大號）本號八十錢東京麴町區中六番町五五實業界社▲調査彙報（一月）五十錢長春商業會議所▲實業（新年復興號）五十錢東京小石川區同心町一六實業社▲新聞研究（新年特別號）三十錢大阪市西區新池田町四四新聞研究社▲我が家（一月）七錢東京牛込區南町三ノ八帝國在郷軍人會本部▲戰友（一月）十錢前同斷▲にひはり（一月）四十錢東、牛込區中里町一五共發行所▲石楠（新年號）本號八十錢東京市外代々木山谷一七五石楠社▲雷鳥研究（一月）四十五錢東京小石川區茗荷谷町六斯華會▲天の川（新年號）三十錢福岡市今泉九四共發行所▲碧（十二月一月合併號）本號八十錢東京牛込區加賀町一ノ九共發行所▲光（一月）二十錢東京牛込區原町三ノ五三寶光社▲與犬（新年號）四十錢京城蓬萊町四ノ一一與人社▲一二三番人社▲家庭料理講義（松の卷）五十錢東京牛込區袋町二五東京割烹講習會

讀者

府內に於て一三四種痘を一週二三回づゝ親切に教授して下さる所なきや（龍山〇生）

▲大平町共醫、年會館で教てゐます（係）

▲三十一日午後六時頃龍山湯十四番の箱で金腕時計を拾ひ番臺に預けておきました御心當りの方は御受取下さい（河馬生）▲玉の汗後に小玉の數知れず（復興の親玉）▲元町通に居られた飛田忠四郎君消息友の石井ですが左記宛てお手紙下さい（市內貫鐵洞一〇八石井光雄）▲財布お落しのお方は當店にお預かりあります御申越し相成り度く（花園町公設市場丸十蝶前店）▲本城屋の年賀狀に頭取と書いて來た全體何の頭取か（一平民）▲鼠さへ忠忠忠と泣くものを（高山喜九郎）▲基礎體能に間ふ陳情祭を送附しながら入館拒絶する理由如何参附者に對する態度甚だ失禮を感ぜざるや（憤慨生）▲基礎體操遊法を講述したる著書あらば其發行所と價格を教へて下さい（御願生）

かいしく良く賣れる
最上醬油
本月廿日迄
割引券附大賣出
杉　キッコーマン　高　ヤマサ　フンドーキン
最寄酒醬油店で御買上願ひ升
仁川港　高杉商店

稻葉醫院
平壤本町　電話七〇九番

株式會社 山口銀行京城支店
京城府黃金町二丁目
電話本局長八五八六
資本金 五千萬圓
本店 大阪市

金剛館

石川 內科 兒科 醫院
平壤潑町　電話六六二番

醇良清酒
キクマツ
品質本位
平壤
松岡酒造場

眼病 良藥
直治水 CHOKUJISUI
恐るべき傳染性ある
トラホームとのぼせ目に
一番確實に卓効ある
理想的の進步的目藥
三大特長
◇最高學府の推奬處方に基く
◇眼科特効藥のみを配伍す
◇スグ一瓶にて効験現はる
主効
▲トラホーム ▲やに目 ▲星目
▲のぼせ目 ▲かすみ目 ▲疼目
▲うみ目 ▲結膜炎 ▲たゞれ目
●其他眼病諸症に特効あり●各藥店にあり
價 新式点眼器付 廿錢 卅錢 半錢
本舖 大阪 東京 丹平商會

りん病 ばい毒
請合藥
定價 八回 四圓 金一圓 三〇
定價 四回 三圓 金一圓 二〇
百圓進呈
本劑りん病藥の主藥は治淋劑こして、ばい毒藥の主藥は水銀內服藥こして世界醫學上第一有効こ確認せられ、特に其の成分は分析の結果前述の如く、衞生試驗所に於て質問に對し、其の効能を保證せらるゝ藥にて帝國醫科大學病院を始め各病院にて施用せらるゝ藥を保證す若し分析の結果前述の効なきを發見せる時は分析料こして金百圓を進呈す。
◎あらゆる治療法を試するも効なき患者は兎に角最後の手段として當商會に來られよ。
◎花柳病病理模型は全國及び海外に設置の專賣所店頭に陳列しあるを以て參考の爲一見せられたし。
◎本劑は請合藥に付き他の藥店に販賣を許さず故に入用の諸君は下記專賣所へ直接申込あれ。
發賣元
關西 大阪三休橋北詰 電話船場一六一四番二三四四番
關東 東京日本橋通四 電話本局一〇七七番三三八四番
有田ドラッグ專賣所
京城 ◎朝鮮 南大門外 黃金町電車通 鐘路大廣橋 龍山練兵町
仁川宮町二 大田春日町一 群山京榮町 全州高砂町 木浦榮町 光州本町 鎮南浦 大邱水町 釜山辨天町 馬山京町三 慶南統營町 晉州二本町 平壤郵便局前 鎮南浦三和町 新義州常盤町 元山本町二 咸興本町二 羅南生駒町
にせドラッグ あり 有田ドラッグ

朝鮮銀行
資本金 八千萬圓
拂込濟資本金 五千萬圓
積立金 一千百四十萬圓
總裁 美濃部俊吉
本店 朝鮮京城南大門通 振替貯金口座京城三三三番
朝鮮、滿洲及支那ニ於テ日本銀行代理店事務ヲ取扱中他一般銀行業務並ニ預金、貸出、爲替等取扱
出張所支店
內地 東京 大阪 神戶 下關
朝鮮 釜山 大邱 仁川 平壤 鎮南浦 元山 群山 木浦 清津 會寧
滿洲 大連 旅順 營口 遼陽 奉天 長春 吉林 安東縣 開原 鐵嶺 四平街 哈爾賓 龍井村 傅家甸
支那 上海 天津 青島 濟南
露領 浦潮斯德
米國 紐育
其他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

本店 平壤
株式會社 大同銀行
電話 三七四・七三・二〇・三八番
振替 京城七九七三番
頭取 橫山直稙
鎮南浦支店 電話三六〇番 振替京城四一五八番
兼二浦 鷄里出張所 電話八六二番
載寧支店 振替貯金京城四七五五番

ライオン齒磨
ライオン齒磨
ライオン齒磨
▲ライオン齒磨は大量製産に依つて、常に最高品質の製品を市場へ送り出してをります。
▲ライオン齒磨の廉價は、實にこの大量製産に基くので、他品の到底追隨し得ない點です。

產科 婦人科 外科 花柳病科
仁川寶町
入院隨意 鶴田醫院
電話七三四番

朝鮮郵船定期

朝鮮郵船株式會社 電話光化門 長 二八四番 二八五番 二八六番 二八七番
○釜山支店 佐藤町 電話 一八四番 六四四番
●仁川出張所 海岸町 電話 一〇二番
●元山支店 海岸通 電話 三五一番
●京城代理店 蓬萊町 國際運送 電話 一二七〇番

○元山代理店 吉田運輸會社
清津丸 一月十九日 大阪行
京城丸 一月十四日 下關行
雄基丸 一月十三日 江原道行
立神丸 一月二十日 敦賀行
關南丸 一月十一日 清津直行
咸鏡丸 一月十三日 清津行
寧會丸 一月十六日 雄基行
釜山丸 一月十三日 浦鹽行

○釜山代理店 大池洄漕部
櫻島丸 一月十一日 東京行
歷山丸 一月十一日 大阪行
京畿丸 一月十七日 下關行
會寧丸 當分仁川止メ 新義州行
釜山丸 一月二日 北鮮行
京信丸 一月七日 浦鹽行
鷲城丸 一月五日 鬱陵島行
濟州丸 一月十二日 江原道行
昌原丸 一月十四日 濟州島行
　　　 一月十一日 木浦行

○木浦代理店 山野洄漕店
櫻島丸 一月十日 東京行
新義州丸 一月十五日 大阪行
大國丸 一月十日 釜山行
公州丸 一月十三日 濟州島行
慶興丸 一月十一日 多島海行
全州丸 一月十八日 仁川行
江原丸 當分仁川止メ 新義州行
　　　 一月十五日 濟島大廻行

○仁川取扱店 堀回漕部
昌福丸 一月廿七日 大阪行
新義州丸 一月十三日 新義州行
當分ノ間仁川止メ
全州丸 一月十三日 木浦行
流氷ノ都合ニヨリ當分缺航 鎮南浦行
流氷ノ都合ニヨリ當分缺航 新義州行
平安丸 一月二十日 大連行
平安丸 一月二十日 芝罘大連青島行

大阪商船出帆

仁川出帆
◎大阪行（群山木浦經由）
◎第五眷盛丸 十二月廿九日午後三時出
◎安南丸 一月三日午後三時出
◎第十一小野丸 一月九日午後三時出
●大阪直行
大信丸 一月六日午後五時出帆
●鎮南浦安東縣行
△江蘇丸 十二月廿九日午後三時出
△第七原田丸 一月 日午後三時出

元山出帆
●城津清津行
新高丸 十二月廿九日午後五時出帆
●釜山、門司、宇品、神戶、大阪行
咸北丸 十二月廿三日午後四時出帆

大連出帆
●上海福州廈門基隆行（但し〇印は青島寄港）
盛京丸 十二月廿九日 午前三時出
丸十 一月 日 午後二時出

內地各港出帆主要航路

●歐洲行毎月十三回●南米行一年十回●濠洲行毎月一回●北米行毎月一回●孟買行毎月二回●南洋行同一回◎印一等御斷△印船客御斷

大阪商船株式會社仁川支店
電二弐・弐一〇・五五

切符發賣取扱所
京城 內國通運會社支店 電話七〇番
仁川 京城通り旅館 電話二六番
事務仲次 仁川本町 郡田組 電二八四
荷扱 仁川港町 郡田組 電話四二三番

三菱商事 船舶 仁川出入

尾道阪神行 往帆
大黑山丸 十二月卅日入港 一月二日出港
第二 御崎丸 一月十日入港 一月十三日出港
鎮南浦行
長浦丸 十一月 日入 十一月 日出

三菱 株式會社 商事 船舶部
仁川代理店
浦崎商店回漕店
仁川本町四丁目
電話長三〇五・長三〇八番

京城日報

(朝夕刊合せて十二頁)

本紙購讀料 [illegible] 一ヶ月 [illegible] 廣告料 [illegible]

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話光化門 [illegible] 振替京城三〇〇番
發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介

立憲政治の運用上 政黨内閣が最も適當

然し余の知悉せる人物を物色した處 圖らずも上院内閣が出來上つた

清浦首相所感を語る

【東京電報】清浦首相は八日新聞記者に會見し組閣の所感に付いて左の如く語つた「山本内閣總辭職の後一月一日自分は宮中に召されて内閣組織の大命を拜したるが自分は御承知の如く樞密院議長の職に當つて居り既に七十五歳の老齡に達し何等政治的野心を藏し得るものでは無いので久しく政治の表面に立つて活動して居らぬから自分に取ら此の職に止まつて聊か奉公の誠を盡すが國家に最も忠なる所以なりとの自覺を以てゐたので政局の紛糾の状態止むを得ざるに出で遂に大命を拜するに立至つた次第である内閣組織の方法等も前申した如く自分は寧ろ政治的野心なきを以て從つて之が準備等も無論無かつたが大命を拜受することを決心してから專ら國家の大局を自分と共に負擔し得べき人材を物色したのであるが夫れに付いては自分が平素から交際して深く其人物の識見抱負を知悉したる者を求めたるに其の人が自分從來の關係上多く貴族院方面に居つたのであるから衆議院にも多士濟々たることを承知しながらも斯の如き顔觸れの人を取る樣に相成つた次第であつて決して貴族院内閣とか特權階級内閣とか言ふ意志の内閣を組織せんとしたものではない政黨政派に付いては七日にも申上げた如く自分の胸中に蘊蓄する所も有るも[illegible]議會休會明けの劈頭に於て中外に宣明する積りであるが我國現在の状況は千古未曾有の大震災に遭遇し帝都復興の事は最も急務であつて其豫算の如きも既に臨時議會に於て決定したことであるから之に基づき力を用ひたいと思ふ殊に現下の國狀に鑑み國民精神を振作し益々我が國體の精華を發揚するは最も切要なりと信ずるが故に之が根本策として教育上の施設に付いては充分に力を用ひたいと思ふのである又自分は平素政黨を基礎とする内閣が立憲政治の運用上最も適當なりとの持論を以て居る者で既成政黨の改善を圖り政黨の堅實なる發達を切望するのであるから選擧の如き最も公正にして政黨をして健全ならしめ以つて立憲政治有終の美を濟さしめんと思ふのである云々

研究會、藤村遞相を通じ公正會の懷柔を企つ

男爵議員問題解決の爲め

【東京電報】貴族院内閣實現の副産物として茲に大なる興味を以て注目される事は研究、公正兩派の關係である從來犬猿も啻ならぬ研究公正兩派が偶々今回現内閣の中心が何れにあるにもせよ表面相提携して貴族院内閣を組織した事は特記すべき政治的奇現象の一であるが兩派共に閣員を出す結果

兩派の關係

を如何に進展せしむべきかに就ては當面の問題で清浦子より當初組閣の中に公正會を持込んだとき研究會幹部の多數が猛烈たる反對態度に出でんとしたが之に對して心密かに反對しこの機會に於て公正會を自派薬籠中のものとなすべく決意したのは研究會の兩巨頭水野直、青木信光兩子であつて兩子は飽迄公正會一致の援助を提議し[illegible]すれば研究、交友内閣を理想とした事は掩ふべからざる事實であるとし居ると共に當面の問題として懸案の男爵議員問題は[illegible]の處置につき來る大正十四年の總選擧迄に公正會の諒解を得るにあらずんば到底見殺しにする外なき窮境にあり之が折衝として山本内閣の後を受け貴族院内閣組織を唱導するや青木、水野兩子等の念頭に逸早く公正會誘惑の策を廻されたのである然も夫れに就ては八日公正會中最も强硬に現閣に反對せる藤村男の和解に反對せる藤村男の懷柔を必要とする所から再び濱尾子を通じて藤村、船越、阪谷三男中二名入閣希望の意志を表示し來れるより青木子を以て藤村懷柔說を[illegible]

藤村男蹶落 [illegible]

[illegible]示し研究會は常務會で一應之を決定し池田男より藤村男に入閣を[illegible]したのである然るに藤村男の外相たる時には政友會に外務參與官[illegible]より猛烈なる反對現れ加ふるに研究會幹部中には藤村男の入閣を以て[illegible]で有るが何分にも青木水野兩子等が[illegible]如く藤村男入閣を以て研究公正融和の楔子と爲し依つて以て男爵議員問題を解決せんと計畫したので遂に異議を斥けて藤村男を遞相たらしむべく決定したので[illegible]

各省次官

及法制警保兩局長任命顔觸豫想

【東京電報】法制局長官、警保局長は既に決定せられた如く傳へられたが其後各種の事情錯綜し各省の次官と共に九日の閣議に附議決定を見るべきであるが其顔觸れは左の如くであらうと

任法制局長官 大阪市電氣局長 法學博士 佐竹三吾
任警保局長 茨城縣知事 藤沼庄平
任内務次官 井上孝哉
任鐵道次官 鐵道省工務局長 岡野昇
任文部次官 專門學務局長 松浦鎭次郎
任農商務次官 商務局長 鶴見左吉雄
海軍次官(留任) 岡田啓介
司法次官(同) 山内確三郎
遞信次官(同) 若宮貞夫
外務次官(同) 松平恒雄

豫算は全部踏襲

議會開會前に各派の諒解を求む

【東京電報】清浦現内閣に於ては前内閣の豫算を全部踏襲する筈で豫算内示會等は開かぬ筈であるが議會開會前に於て政黨各派代表を永田町首相官邸に招致して諒解を求めることになつた

上院少壯派の内閣非難

【東京電報】清浦内閣に對し自ら其興廢を以て任して居る貴族院の研究會、交友俱樂部、公正會の各派の少壯派中には現内閣の非能力を[illegible]する者少からず而もそれが相當勢力[illegible]へられ頗る注目に値する

樞府正副議長決定

【東京電報】樞密院議長の後任に付き八日午後一時樞密顧問官中濱尾子より諒解を求むる所あり濱尾樞府副議長は清浦首相を官邸に訪問し打合せをなしたるが既に平田内府及び牧野宮相にも諒解を求めある事とて左の如く決定九日午前中親任式ある筈である

樞密院議長 樞密院副議長 子爵 濱尾新
樞密院副議長 樞密顧問官 一木喜徳郎

塚本次官免官

【東京電報】塚本内務次官岡田警保局長は何れも八日附依願免官となつた

新任茨城縣知事

【東京電報】藤田武宮局長は八日茨城縣知事に轉任した

攝政宮御安泰 御奉告勅使

【東京電報】客臘二十七日虎の門に於ける不敬事件に際し攝政宮殿下御安泰なりし御奉告の爲め伊勢、橿原神宮、畝傍、桃山御陵に勅使參向する十二日發遣の儀を執行さるべく勅使左の如く被仰付

神宮勅使被仰付 掌典次長 子爵 園池實康
神宮勅使被仰付 掌典 子爵 長谷信道
山陵勅使被仰付

首相沼津へ伺候

【東京電報】清浦首相は九日沼津伺候の豫定を變更し十日午前八時[illegible]

樞密院議長に決定した 濱尾新子

同副議長に決定した 一木喜徳郎氏

借金を基本とする 復興と經濟界の將來

兌換券は膨脹し物價は騰貴するが續いて來たる所のものは大不況か

日本勸業銀行總裁 梶原忠治氏談

我國經濟界の將來を云々するには先づ復興事業の規模と其の資源とを觀察しなければならぬ。今回政府の豫定した計畫によれば事業費の總額は四億六千餘萬圓となつて居るが是は單に國家が東京横濱に於ける都市計畫事業の爲めに支出すべき資金の額を示すに過ぎないのであつて此外政府の直營としては各官廳、學校等の建築、交通通信機關の恢復、港灣河川等の修繕費等を要するのであらう又東京府市其他公共團體の經營すべき各種の事業も少くない若し夫れ民間の復興事業は更に重大なるものである試みに當方に於て計算した損害は私有家屋の見積價格のみにても約十三億圓を算し之に什器備品等の損害[illegible]

[illegible]

一部には好景氣らしき現象の現ることもあるであらう[illegible]大銀行に資金が堆積するの結果としてコール日歩は低落し或る種の有價證券は次第に騰貴するであらうと思ふ然しながら之は何處迄も表面の流れであつて其潮流は全く反對の方向に進むものであることを忘れてはならぬ[illegible]

[illegible]

◎[illegible]地に二泊更に興津に西園寺公を[illegible]することに決した

[illegible]困難となり[illegible]後半より收拾すべからざる状態に陷つたものである今日の我状態は固より[illegible]の場合と其の立場及程度に於て同一視することは出來ないのであるが復興事業が主として借入金を資源として行はるる以上或る程度迄は兌換券の膨脹と物價の騰貴とを招くは自然の勢ひであつて經濟界は其表面の活氣を呈すると正比例して内部は國家としても又個人としても大資金の減耗疲弊の困難を感ずるに至り散布せらるべき資金の漸く減少する頃より終に一大不景氣時代を現出するのではあるまいか之を避けんとせば國家も個人も必ず借入金を爲す場合に於ても得ず其償還の見込を確立し將來の收益を以て之を補填し得る場合に限り之を行ふと共に一面復興事業其他の爲め散布されたる資金は公債社債に小額債券の發行等の方法により直ちに之を吸收するに力め以て兌換券の膨脹を防がなければならぬ斯くして兌換券の膨脹を或る程度に止め十分なる[illegible]

鮮銀移管問題成行

[illegible]相も移管の必要を認む

【東京電報】朝鮮銀行移管問題に就いては[illegible]

御聽許奏[illegible]

叙勳授章

勲一等 李堈公

叙大勳位授菊花大綬章

不肖公妃金氏

勲一等授寶冠章 故李熹公妃金氏

叙勲二等授寶冠章

右の通り八日叙勳授章あり李堈公[illegible]

叙位傳達

九日午前[illegible]

叙從二位 正四位 子爵 李[illegible]
叙從三位 正五位 子爵 李[illegible]
叙從四位 [illegible]

未だ決まらぬ殖産局の分立

不用の官有財産は拂ひ下げる

有吉政務總監談

今回の李堈公殿下を始め、叙勳叙位[illegible]
殖産局の分立することは豫算に計上されてゐると云ふのか[illegible]本府一局分立の經費を計上したことは事實である。しかしこれは[illegible]

農務局 と商工局と言ふ[illegible]

官有地 なり其他が點在[illegible]

英國議會再開

【ロンドン八日發電】英國議會は八日午後二時四十五分再會ホイツトレー氏を下院議長に再選する筈今週中の議論は新議會の議案に當てらるべく英國皇帝は十五日正式に開院式を擧げらる〻筈

露國内部分裂論戰

【莫斯科八日發電】一月十九日開會さるべき共産黨大會に於て共産黨主義の爲め露國内部を分裂せしむべしとの論戰が行はれるらしい

大學豫科入學志願者心得

百六十名募集

朝鮮帝國大學附屬大學豫科に入學を志望する者は左の條項を注意せられたしと

一、入學せしむべき生徒の概數 甲(大學に於て法學を修學せむとするもの)八十名 文科乙(大學に於て文學を修學せむとする者)四十名 理科(大學に於て醫學を修學せむとするもの)四十名
[illegible]

一、入學試驗學科目 文科 國語及漢文(國文解釋、漢文解釋、書取、作文) 外國語(解釋、國文英譯) 歷史(日本歷史及東洋歷史の一部) 數學(代數、平面幾何) 理科 國語及漢文 外國語 數學(代數、平面幾何、三角法) 博物(動物及植物通論)[illegible]

滿鐵水電計畫

豆滿江を利用

滿鐵では咸北豆滿江の支流[illegible]に有利なる水力電氣事業を興し同江沿岸の[illegible]

商議部員決定

京城商業會議所新議員の部署は八日の部員[illegible]つたが商業、工業、金融及交通四部の部長並に部員は八日付を以て左の如く決定發表した

商業部 部長 古城龜之助 部員 鹽田米三郎 同 辻本嘉三郎 同 李[illegible] 同 本吉清一 同 鈴木仙次郎 同 李見漢

工業部 部長 西崎源太郎 部員 宮野勝市 同 寺尾猛三郎 同 田川常次郎 同 廣田安之進 同 橫内茂吉 同 南廷圭

金融部 部長 佐野彦藏 部員 佐藤半次郎 同 野田三郎 同 白石[illegible] 同 [illegible]田明敬 同 近藤[illegible]助 同 白[illegible]洙

交通部 部長 韓相龍 部員 高橋章之助 同 恩田銅吉 同 林茂吉 同 長島[illegible]次郎 同 梁在昶

公會私會

◇[illegible]京城府及び京城府教育會主催の[illegible]講演會は[illegible]十日午後七時から長谷川町公會堂に於て開會する

◇守屋庶務部長は[illegible]

◇入學試驗委員會 [illegible]

人事消息

▲安藤京城府[illegible]
▲平井三男氏(總督府商工課長)八日京城内地より歸任
▲入澤重麿氏(一兩日中東京出發[illegible])
▲伊藤利三郎氏(私鐵常務)同上
▲天日常次郎氏(東亞鮮米協會)十日[illegible]東京に出張の筈
▲田中卯三氏(總督府[illegible])九日夜[illegible]

茶話

如何なる理由か知らぬが[illegible]とにかく大[illegible]やいろんな[illegible]とにかく大[illegible]
[illegible]

氣象日報 (九日)

九日朝低氣壓は日本海北部に去り高氣壓は南支那及滿洲北部に發達せんとす全鮮概ね晴天にして北西の風吹き氣溫は昨朝より十度内外高し十日京城は天候恢復すべし

天氣豫報 (十日)

曇後晴

九日正午 [illegible]
八日最低 [illegible]

謹賀新年
伊藤千平
長谷川鮑四郎
鳥飼生駒
船坂順吉
齋藤欽二
白神壽吉

朝鮮殖産銀行群山支店 岩倉守男

朝鮮銀行群山支店 井上清

群山府九龍洞 土木建築請負業 伊藤組 電話七二番

群山府旭町 弘田工業所 電話三〇四番

群山商業會議所 野邑安之助

群山明治町 土木建築請負業 石倉新一 電話二四九番

群山府明治町 村上旅館 電話二六四番

群山府明治町 西洋雜貨文房具商 松前商店

群山府旭町 會席御料理 鎌倉家 電話六三〇番

群山警察署 野上代三郎

群山府明治町 西洋御料理 東洋軒 電話二六九番

朝鮮商業銀行群山支店 藤原吉久

十八銀行群山支店 疋田定

群山西濱通り 人力車 花屋組 電話四〇〇番

群山明治町 人力車 小田組 電話四三〇番

群山榮町角 人力車 丸福組 電話三二一番

群山明治町 人力車 龜井組 電話五一四番

群山府西濱通り 河内屋洋服店

群山府 北村八洲仙

群山稅關支署 中村政吉

正賀 奉天 貿易商 豐田洋行

奉天 秋田商會木材株式會社

喪中に付き年末年始の禮御遠慮申上候 奉天 瀋陽館 電話一四番

鞍山 山本憲次郎

賀正 在安東領事 西澤義徵

新年御宴會は特に勉强致します 京城本町二丁目 すきやき割烹 清香園 電話本局三六〇番

土佐紙株式會社 京城支店

淺野セメント株式會社 京城出張所 京城大和町一丁目 電話本局六六二番

清田洋裁 京城 長谷川町 電話本局九一八番

石田建築材料店 京城黃金町一丁目 電話本局一六一(ナ)番

京城南大門通三丁目 (元玉錦支店) 雜貨 加藤洋酒店 電話本局二三三番

京城本町一丁目 淀屋帽子店 電話本局九一二番

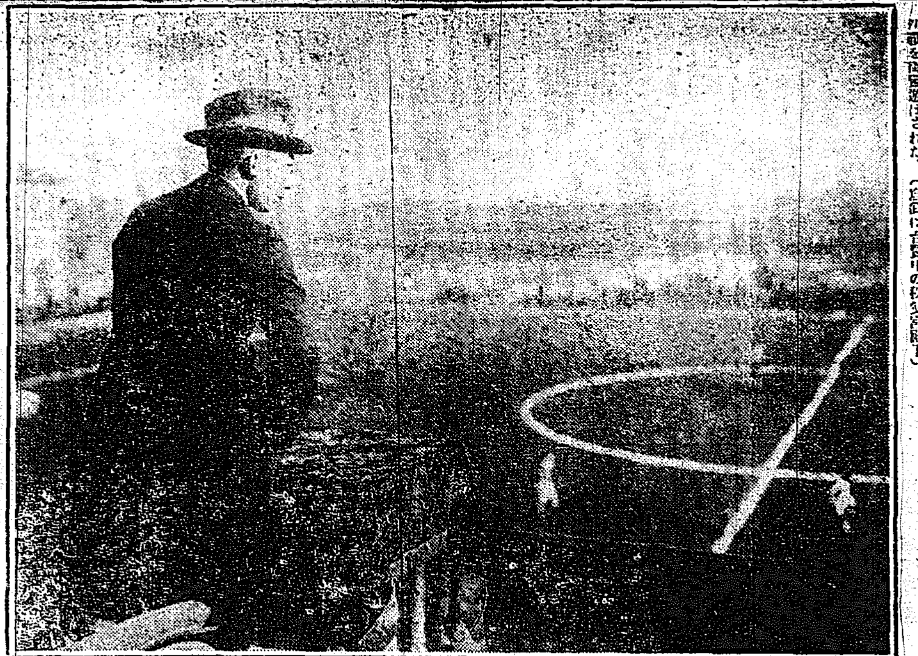
仁川自動車商會 別府信治 仁川本町一丁目 電話六六〇番

大田春日町一丁目 技術本位 北村寫眞館 館主 北村一員 長電話三一八番

京城本町二丁目 雜貨家具運動具 森啓商店 電話本局四三〇番

秩父宮が辨當御持參で

東京帝大教授の發起〔…〕の全國高等學校のア式蹴球大會がこの間から駒場の帝大農科グラウンドで擧行されたが此の日秩父宮殿下には辨當御持參で御臨場あり熱心に終日まで觀戰を御遊ばされた（寫眞は御觀戰中の秩父宮殿下）



大化會員の大陰謀

頻發する不祥事件と清浦内閣に憤慨し

首相以下四大臣を〇〇すべく

企劃中檢擧さる

【東京電話】[illegible]大化會事務所を襲ひ家宅搜索と共に岩谷明（三〇）秋武熊二（三三）北井嘉七（二〇）外二名を逮捕し嚴重取調べを開始した、嫌疑は頻發する不祥事件に憤慨し且つ清浦内閣の如き純然たる特權階級の組閣を見るは階級鬪爭を來すもので[illegible]元大化會員が山縣公と共に渡鮮した清浦子が今更政界に擡頭して來たのを憤慨し之れを〇〇すべく先づ清浦、水野、宇垣、藤村四氏を〇〇すべく各自部署を定め親從式前に決行せんと準備中であると（東京電報）

トルコ大統領に爆彈

ケマルパシヤ氏重傷を負ふ

【アゼンス八日發電】スミルナよりの報に依れば何者とも知れず土耳其大統領ケマルパシヤの邸に爆彈を投じケマル氏の負傷は重く同夫人は無事であるケマル氏は治療を受くる爲めアンゴラに移轉した

新御所造營敷地

赤坂離宮の東側庭園

設計は近代的の洋風

御成婚後東宮殿下は妃殿下と共に赤坂離宮に御住居になる筈であるが宮内省では既に赤坂離宮苑内に新に東宮御所を新築の計畫を進めて居る右は東宮殿下の御思召もあるので[illegible]國費を[illegible]其他[illegible]しから何れも今後は赤坂離宮を之れに充つるとの趣である而して新御所造營の敷地は赤坂離宮の東側庭園にて新館の設計案は近代的の洋風を取り入れ内部の模樣も洋風の御生活に適する樣に考案され建物の外觀はルネツサンスの粹を取り入れるものに英國流のコテーヂ、スタイルを取り入れ[illegible]い感じを出し二階を兩殿下の御居間及び御寢室に充て御所と離宮は殿下の離宮として侍從女官の宿舍を御所近くに設ける筈で既に右設計の圖案は出來上り殿下にも御覽に入れるとの事である（東京電報）

御召列車

模型試運轉

缺點を發見

東京御召列車模型の試運轉は關西でも七日から始めたが名古屋驛構内の所で車輛の側面がホームと接觸する事が發見されたので名古屋鐵道局では早速同ヶ所の改良に着手したが同局では昨年九月の震災以來未だ改築工事を了してゐない關西線河原田驛附近の線路も此の際御召列車の御通過迄に改築工事を行ふ外御通過線路に對し嚴重なる手入れを行ふ筈である（名古屋電報）

金時計を盜む

[illegible]所不定の[illegible]（二〇）は數日前府内太平通り二の九五番地[illegible]雄方に居住する[illegible]の金時計を[illegible]に逮捕された

支那現政府の運命

[illegible]

來る四月から愈々朝鮮大學豫科開校

[illegible]

戰慄すべき殺人事件

同寢中の男を短刀で刺殺し

肝臟や腸を喰ひ盡し

心臟の血を飲む

舊臘大晦日の午前二時半頃春川郡北山面楸田里宿屋金善長方に於て京畿道楊平郡丹月面大崎里修道寺僧侶秋斗仁（四六）は約一尺ばかりの短刀で同寢中の同面佛谷里朴聖天（四二）の頸を切つて即死せしめ尚ほ腹部を切開し肝臟及び腸は悉く食ひ心臟の血を飲み姿を晦ましたが泉田駐在所道巡査崔、岩松兩巡査が直に之を探知し犯人の跡を追ひ同日午后三時半頃同面清平寺にて逮捕した、急報に接し檢事局及び警察署より檢事警醫署長以下司法主任現場に出張したが斯る慘虐なる殺人行爲は極めて稀有で兇行原因については目下春川署に於て嚴重取調中である（春川）

通話度數の多い加入者に

交換手を訪問させる

京城中央電話局の試み

京城中央電話局では局内交換手の加入者からの苦情を聽取し、交換事務上の錯誤に起因するものを錯誤とし、錯誤中外交換の錯誤其の他を事故として詳細に記錄して居る、[illegible]通話事務の[illegible]交換手の數名を市中の最も多く電話を使ふ加入者を訪問させ、交換に就ての加入者の苦情を聞き加入者の錯誤してゐる點はその訂正を説明させた[illegible]局長は永續的にすべく目下考案中である局長は語る

昨年の暮は例年ほど通話増加がなかつた、反對に正月に這入つてから例年より多い樣である、暮に少かつたのは一般財界不況の故で正月に入つても二日から例年より多いのは之れも例年だと正月三日間は商家でもゆつくり休むのに本年は矢張り不況の故で二日あたりから普通市中の商店で營業してゐる店があるからであらうと思ふ、相變らず毎月七八名の退職者があるのには困つてゐる、補充には困らないが

新聞廣告で數千圓騙取

ズルイその手段

府内[illegible]（二一）は二三年前より有名無實の[illegible]社なるものを[illegible]物を新聞に廣告し[illegible]する者と新聞に[illegible]代金を騙取し[illegible]の物品を送付して居たもの[illegible]

拳銃で富豪を恐喝

金錢を強奪した青年

本町署に逮捕さる

[illegible]

本年の就學兒童は千五百名

手續はなるべく早いがいゝ

府廳を泣せる冷淡な保護者

來る四月一日から學齡に達する内地人の子弟は大正六年四月二日から同七年四月一日迄に出生したる兒童であるが之に該當する兒童の保護者は所定の入學屆に戸籍謄本又は抄本を添へて來る三月廿日限り京城府學務係又は京城府廳出張所に提出すべしとの事である[illegible]

店員の惡事

[illegible]

人妻に戲る

十九歳の痴漢

[illegible]

十圓札を強奪

兩替するとて

[illegible]

粟を盜む

[illegible]

富士出動

『大泊』救助の爲

[illegible]

京城で『文明の乘物』が五百人を殺傷した

交通事故は著しく增加

[illegible]

自轉車ほしさに放火

混雜にまぎれて盜み出したが

良心に責められコツソリ返還

犯人は二十一歳の男

[illegible]

牛の價を

正確にする

[illegible]

幼兒電車に觸る

[illegible]

咸興の火事

遊廓の裏手

[illegible]

信越の吹雪

尚歇まず

[illegible]

大連から高飛

窃盜を働いて

[illegible]

外套から足がつく

[illegible]

逃走中尉

上海に潜伏

[illegible]

憲兵隊が拔劍して

小作爭議を警戒

暴動化した埼玉の小作人

[illegible]

鏡餅百重ねを

府内孤兒團體に寄贈

[illegible]

記錄賞授與式

大日本體育協會にては來る十五日午後五時より帝國ホテル内に十二年度同會主催の競技會に於けるレコード賞授與式を擧行すと（東京電報）

大阪相撲

新番附

大阪相撲協會新番附は左の如く發表された（大阪電報）

東方		西方	
横綱	宮城山	大關	若木戸
大關	荒熊	關脇	多賀の浦
關脇	稲花	小結	錦洋
小結	相生	前頭	月の出
前頭	日の出山	同上	錦城山
同上	松錦	同上	島の瀬
同上	桂川	同上	盛山
同上	梅若	同上	岸松
同上	高勇	同上	上山
同上	雲井山	同上	曙汐
同上	陣花		

蘇島の小火

八日午後三時四十五分高陽郡蘇島面[illegible]一七九新裝商金車助方から發火し茸屋三間を一舐めにして同五時十分鎭火した損害約百圓原因は炊事場の火の不始末から

列車から墜落

[illegible]（神戸電報）

胃腸内防腐殺菌最新藥 Dimol (DIMETHYLOMETHOXYPHENOL) ダイモール 創製 英國藥化學博士 エンスリー、ウオーカー先生 英國醫學博士 臨床的實驗證明 實驗推奬 醫學博士 吉光寺錫先生 醫學博士 近藤恂二先生 赤痢、チブス、胃腸加答兒、大腸加答兒、腸内自家中毒 發賣元 株式會社 島居商店 東京日本橋

エルネマン會社製 目下上記の各社製品の内優秀なる品特價提供中のもの多數ありますから安價に御希望のカメラが御手に入るものと信じます。是非カメラ御望みの方は御照會の程御願ひ致します 直輸出入商 木村洋行 奉天浪速通六 （アクファ）ロールフヰルム フヰルムパツク 普通、整色乾板 現像藥品 閃光粉 寫眞機械各材料

鞄は高木 鞄製造販賣 魔法瓶及中瓶取替 京城黄金町一丁目 高木鞄店 電話二三一五四番

京城永樂町二丁目 入院隨意 酒井婦人病院 酒井一郎

[illegible]は 須賀商會京城支店

父眞鍋久藏儀突然急病にて養生相不叶一月八日午後四時死去仕候間此段謹告仕候 追而葬儀は[illegible] 大正十三年一月九日 男 龜之助 貞太郎 親戚 岸田玉三郎 友人 澁谷豐作 總代 平井惠太郎

中村眼鏡店

經驗ある助手入用 一誠齒科醫院 平壤本町 電話五五〇番

天幕、雨覆、日覆製造販賣 京城 中西テント商會

平壤醫院

本邦唯一の精良品 サツク 丁子堂

ぜんそく 日輪寺

朝鮮に於ける産業資金

使途を誤るなく 眞に産業の爲に利用せよ

朝鮮の經營者が最も苦心を拂つて居る點は如何にして資金が朝鮮に於て現在集りて其目的通りに活用されて居るかと云ふことは朝鮮の爲めである、尤も公共團體乃至個人の手に於ける資金の運用は勿論多少の例外はあるが確健ながら此種の資金の總ど大部分は種々の名義に假裝されて居て其實は種々の投機的方面に使用されつゝあるものが多いので朝鮮經營界の現状より見て、これが爲めに産業資金の缺乏を來すことは或は無理もないかも知れぬが苦々しき事實である。

舊債　地主及び土地購入者の如きは十年一日の如く舊債を負ひて居る、土地購入の資金を出せない様な債權債務の關係より成るものでは殆ど金融上の意味を有するものでない、土地購入者は單に投機の目的を以て何等之を利用生すべき途を講ずるものでない、要するに之等の資金は地下に埋めて置く様なもので何等の用途をも得ない、地上を耕さずして唯甲乙轉賣するのみであつては之に要する資金は全く死金であつて地價を空しく騰貴せしむるに止まり却て結果は地主を窮迫に陷らしむるに止まるのである、之等の資金は地下に置いてある資金の如きもので根本的に朝鮮經營に何等の貢献をもたらさない。

元來　資金の用途に關しては特に朝鮮内の金融機關に於ては夫々周到の注意は拂つて居るのであるが、内地に於ける金融機關に較べて實際は資金化するの程度に止めて土地を資金に代用する様な事は殆ど見ない、此點に於ては比較的に困難なりと思はるゝ融通資金を鮮人に對して實行せんとしつゝある朝鮮内金融機關の努力を多とせねばならぬ、雖然自己の融通を以て滿足しつゝある鮮人の大部分は投資を目的とする資金の利用價値を知らない、一寸せば此種の主張は何處迄も終始一貫して貰ひたいのである。

京城の一部には次の様な實話がある

甲乙兩人の間に、乙が甲から十萬圓餘りの土地を買受け更に之を一萬圓餘の手附金を貰つて残餘の代金支拂は相當期間の猶豫を與ふると云ふ随意的の特約の下に十三四萬圓の價格を以て丙に讓渡したのである、此の場合は特に朝鮮人間に多いので現に訴訟沙汰たいものである。

金融 (機關の手を煩はして)

居たのである、處が未だ乙丙者間完全な土地の引渡を完了されて居らぬ間から最早小作料の徴收に就て大紛爭を惹起して居る、甲乙丙は期限猶豫の特色を揮ひ、更に乙は自己の主張を固持し、買受けた數千六百石もある小作料を僅かに七百石に打切り滿足すべきを乙は小作人に宣言して其成立を急ぐ、乙は又契約の無効を主張して甲の成立に狂奔し一般小作人の同情は寧ろ丙に加擔して殆んど地主對小作人間の紛爭とも見るべき地方問題までも釀成して居る。

思想

斯の如く地主の權利を奪ひ土地を投機の目的物に利用する結果は總て小作人の思想を益々惡化させて自然其に堪へられぬ損失を蒙つて居るのである又經濟的の方面では水利組合の完成と共に水稅の負擔に堪へずして鮮人所有の土地を買收せらる、其資金の融通に苦心しつゝある者が多いとの事であるが此資金の利用を保護して完全に水利施設の利便を實る努力と時日と多大の資本とを投じて來た事實は少なくない、土地の價格に二倍されたものも興へず更に自ら好んで數百年來の墳墓の地に喜んで浸らんと欲するが如き此の所謂鮮民階級には理解されない、一反歩六、七圓の水稅は勿論苦痛には相違ないがこれは在來の僅かの收穫で水利組合實施の

增收

自己努力には何等の酬報をも與へて居らぬ當然の權利である要するに鮮農は何れも土地に對する熱心の缺陥に基く無理解の結果であつて朝鮮に於ける地力は年々減耗して行くばかりである如くも土

棉花出廻狀況

(殖產銀行調)

近年稀有の增收と及び高價であつた結果非常の出廻りを見た朝鮮棉花の昨年中に於ける出廻り狀況は十一年に於ては其翌年度の十二年度の二月迄に於いて約三千萬斤の出廻りありたるにも拘らず昨年度に於ては總收穫も約一億二千五百萬斤に達したりとはいへ既に三千百萬斤内外に及び遂に凌駕する所あり殊に今年は其の殆ど内消費量に於ては收穫の多少に依つて變化する事ものにあらざると及び價格の影外高率であつた事は更に地木綿原料による事より之を販賣として政策上の方策であるため之も幾分減少する見込にて結局僅成收穫高の約三分の一が移出せらるゝに過ぎし今年は約移出額は移出せらるゝならんと豫想され來る二月迄には五千萬斤に達する見込の出で各地別の出廻り豫想は

全南	二千萬斤
慶南	五百萬斤
全北	四百萬斤
慶北	二百萬斤
忠南	百五十萬斤
忠北	二百萬斤
平南	四百萬斤
黃海	七十萬斤

等で平壤棉花は前年度の斤二十錢に對し約八錢高の斤二十八錢見當で來る二月頃迄には繼續となつて移出せらるゝ場合には減に於ては約三分の一に減少するも價格に於ては現在價況より見る時は約八億の百斤八十圓見當で同時に今年は數分相場高の關係から時期も稍上げらるゝであらうと關係方面で觀測されて居る様である

京城在庫增加

銀行集會所調査十二月中京城市中銀行、郵便局、證券及同組合四倉庫に於ける貨物入庫狀況を見るに同月中入庫總額は一萬七千六百五十六個四十四萬五千八百八十二圓出庫六千五百三十個二十九萬八千九百三十五圓にして月末現在高は一萬九千九百四十三個五十三萬五百六十一圓となり之れを十一月末現在に比すれば個數に於て一萬一千

粟輸入旺盛

新穀期に入つても更に衰へざりし滿洲方面よりの輸入は米價の騰貴、内地移出の旺盛なるに伴れて十二月に入つて更に輸入の增加を示し十二月中の百卅七輛に達し前年同期に比し六十五輛即ち約四割の增加し今月に入りて更に八十輛を輸入し前年の同日までの四十六輛なるに比して約十八割の增加を示して居る點より推して猶引續いて輸入旺盛ならんとするの傾向である

百二十六年中、價額に於て十四萬六千九百四十七圓の增加を示して居るが今十二月末迄に品の主なるものを見れば左の如くである

品名	個數	價額
粟	二、四一六	三一、六四一
玄米	一、四〇九	一四、九一八
白米	一、六五〇〇	一、一〇一六
精米	九〇〇	一、〇四九
大豆	一七〇〇	一、三五〇
其他豆類	七〇八	九、三五五
雜穀	六二八	五、四四九
日本酒	一四〇	九、〇二五
綿糸	一〇三	一八〇五
綿織物	九〇三〇	一、〇一三五
毛織物	二一六	九、五〇〇
洋紙	一七〇	七、五八九
和紙	一〇四〇	一八、五四四
金屬製品	一、八〇〇	一、一三五六
藥種及染料	一三二〇	二〇七〇〇
其他雜品	二一三、五	五六〇〇
合計	一九、九四三	五三〇、五六一

銀行別 手形交換高

昨年十二月中に於ける各組合銀行別手形交換高は十一萬六千三百五十枚五千三百卅萬四千二百九十四圓にして前月に比し八千九百二十九枚一千一百八萬四千二百七十六圓を增し前年同月に比するときは八千六百五十一枚三十六萬八千五百八圓の減少であるが銀行別交換高は左の如し

銀行	借方	貸方
朝鮮銀行	[illegible]	[illegible]
殖産銀行	[illegible]	[illegible]
第一銀行	[illegible]	[illegible]
安田銀行	[illegible]	[illegible]
山口銀行	[illegible]	[illegible]
十八銀行	[illegible]	[illegible]
韓一銀行	[illegible]	[illegible]
漢城銀行	[illegible]	[illegible]
實業銀行	[illegible]	[illegible]
商業銀行	[illegible]	[illegible]
海東銀行	[illegible]	[illegible]
京城郵便局	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

手形交換種別

京城手形交換所に於ける昨年十二月中の手形交換高は六十二萬四千八百卅枚二億五千四百六十四萬九千五百十八圓にして其種別左の如し

種別	枚數	金額
當座小切手	[illegible]	[illegible]
送金爲替手形	[illegible]	[illegible]
約束手形	[illegible]	[illegible]
政府預金小切手	[illegible]	[illegible]
郵便爲替證書	[illegible]	[illegible]
公債々券利札	[illegible]	[illegible]
雜	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

鮮米協會設立近し

東京鮮米協會は愈々設立することに決し事務所は深川に倉庫は芝浦に設くべく來日の會長一兩日に出發すべしと

金物商組合總會

京城金物商組合にては八日午後六時より明月館に於て總會を開き會計報告事務報告の後福引余興による宴會に移り十二分の歡を盡して同十時半散會した

株式(九日)

大新爆發 前場百圓突破 後場は一と息

昨來込過ぎに打止め引跡大阪大新百〇一圓二十錢と爆發の大引を入れ今朝も前日の手亡に寄り付いたる新高値百一圓八十錢安値九十九圓ドタの大波瀾を入れて人氣沸騰熱狂的場面を呈し短期大新は買方の追撃と賣派主力筋の大崩れ退きに寄付百〇二圓五十錢と五圓八十錢方奔騰大阪より二圓方上鞘に始めしも跡一圓十錢と落し更に二圓ドタと返し一圓六十錢七八十錢を挾んで再び二圓臺に昂げしも高値飛付マバラ筋の投げに買方の利喰を添へ天井と見る軟派の賣物及崩れ退筋入り混戰を演じ折柄大阪の九十九圓ドタの下押しを入れて一齊百圓臺を三つて九十八圓九十錢と突込む等大波瀾を演じ跡百圓ドタより百〇一圓四十錢迄返し再び九十九圓五十錢と下押したが打止め結局三圓三十錢方昂丁度と大阪高に伴れて三十八圓三十錢と一圓二十錢高に始めしも高値は林社筋買浴せて七圓九十錢と打止め八十錢高仁取は二圓高仁新は八十錢高安取は保合長期は京取當限ざりしも先一圓十錢方昂騰大新以外は稍不氣乘なるも兎も角一齊高を告げ好勢裡に大引した

▲後場は大阪大新百〇一圓ドタと小高き移りの跡小安き入帳があり商狀一服模樣を呈し結局短期の大新は百圓ドタと寄付いた跡一圓九十錢高値ありしも大阪の小安きに移り百圓ドタより九十九圓九十錢と辷り百圓五十錢と小堅く打止め五十錢高京取は三十七圓九十錢八圓ドタを繰り返し八十錢と押し十錢安仁取は出來ず仁新は三十六圓二十錢と上乘せ五十錢高安取二十錢高と一齊に小締り長期は京取當出來ず先三十八圓三十錢と引合し五十錢を高値に八圓ドタと押たるも四十錢と保合に打止め其他鮮銀新甜陣一、東京新甜等に小口手合あり大體底强き一服狀態に大引した

京取伸び難し

京取は今朝大新の爆勢を入れて漸く買氣を刺戟し短期は田中市川筋熱心に買進み三十八圓三十錢と一圓二十錢高に寄り付しも吉見筋猛烈に賣り浴せて高値續かず結局七圓九十錢と打止め八十錢方昂騰し後場は大阪の一服と共に双方見送り保合に終つた更に最近市場取引の商勢大阪高の刺戟前途の諸問題を材料とせる買方の態度は相當根強きものあるも吉見筋の賣物は昨秋二十五圓臺より買進みて受株したる實株の堅ぎ物で其數量も相當多量なるが如く中々に侮り難き節ありどせられ前途相當見越しの人氣ではあるが目先は右の賣物に壓せれて伸力添ひ難く若しまれ一朝大阪の反落にてもあらんか之れを機會に賣り叩かんかとの懸念もあり目先の活況は望み難き現合である

大新百圓突破 買氣は尚旺盛

大新は昨大引後大阪の止め百〇一圓五十錢の大關門突破を入れ今朝更に百圓五十錢寄りの跡百一圓八十錢の高値を入れて人氣沸騰熱狂的場面を呈し追擊と投げと高値飛付きの崩れ等續出大波瀾を演じ寄り付の百二圓五十錢を高値に九十八圓九十錢を安値として百圓丁度と打止め三圓三十錢方の奔騰を告げたが尚先高見越しの人氣は旺盛にて新規買りは警戒さるゝ振合であつた何しろ大阪市場に於て復興景氣の出現を確信せる人氣は地方

出來高

▲長期九百十枚、累計二萬四千四百七十二枚▲短期一萬一千枚累計七萬三千六百二十枚

算定

京取三十八圓、仁取百〇三圓、仁新三十六圓、安取十八圓、大新百圓

日步

京取十八錢、仁取四十錢、仁新十五錢、朝紡五錢、拓新十錢、滿取逆十錢、安取十錢、大新逆九十錢

前場歩み

[illegible]

大新喰合內容

九日前場現在大新取組高合前場の爆騰に依る大波瀾の結果左の如き喰合となつた

[illegible]

現株中値出來値(九日)

[illegible]

短期取引

[illegible]

大阪短期取引

[illegible]

大阪長期取引

[illegible]

安東株式

[illegible]

鎭平銀

[illegible]

米況(九日)

仁川期米 前場一息

昨後場阪地の止め高に再び三十二圓二十錢と跳返して打止めし折柄今朝大阪寄更に三十八圓五十九錢と七十錢高を入れて強大人氣が出來ざりしも中三十一圓丁度先三十二圓四十五錢と二十五丁高に寄付きたり

▲第二節　當中出來ず先四十七錢と更に新高値へ寄付きしが⑤⑦克く賣りて三十錢と押し三錢と仲みに引

▲第三節　當出來ず中二十錢より買方の賣引に四十錢と跳返したれば先三十五錢より九錢と締り七錢と手堅く引

▲第四節　當中出來ず先三十八錢より⑤③等手揃いの賣りに十錢と叩かれ買方の防戰に二十錢と跳返して引

▲第五節　當出來ず大阪跡四十九錢より十一錢の持合いに中十錢先十九錢に始め二十三錢と小戻りは⑤⑦等克く賣り十五錢と押して引

▲第六節　當中出來ず先二十錢より十九錢の持合ひに引

▲第七節　當出來ず大阪止め五十九錢の高盤に中三十一圓十錢先二圓四十九錢と反撥して引

反動恐れに警戒

昨後場から今朝に亘る阪地の再沸騰は大新百圓突破の刺激にて彈力上にも買氣を加はつた其の爲めで阪地も常所と同じく人氣が一變して押目買ひ一致の傾きがあるのみか從來の買方主力は採算上正米に比して宗期が存外割高を維持して居る爲め先限には餘り買進んで居らないが、通貨の膨脹や帝都復興の鳴物に依る株式熱系高に煽られて地方筋が熾烈に買進んで來る向が多いらしい之れから推すと例へ前途は高い相場にせよ此の邊買過ぎの反動を惹起するかも知れないと警戒の向が尠なくない

橫槍筋氣迷ふ

現在阪地との鞘關係からいふと六百丁以上を附して居るが之を中限なる譯で往潮に當込み難いが又正米との採算から行くと中先共に裕に比較すると七百餘丁の鞘開きとなる處である北け橫槍筋も出合ふか何うかは氣迷ひの體であるが今日の如く買進めず双方種々に乘り出せない始ど定期が正米より割を外して買進まれて居る以上正米から鞘を寄せて來るか定期に買疲れが出て定期から鞘を寄せて行くか其れが今後の問題で秋は恰も正を控へて正米出廻り增加の時代に近づいて居る際であり買方に取つては油斷の出來ない處である

中限は一波瀾か

當所の當限は漸次取組を減少し最早一千內外に過ぎざれば別に問題とするに足らざるも中限は尚ほ三万石內外の大取組を有し買方は㊉を根據とせる鮮人筋一派にして賣方は㊉⑦等なるが同手筋南名にて二万石餘の手當米を有し尚續いて買附け中なれば無論渡す覺悟であるうが此の買方は果して受米を敢行するかどうか若し之れまでの態度を以て順次先限に乘替へ來らんか賣方の玉尻れの不勢は免れないし茲に正接近と共に値鞘の高い關係もあり正米は買物增加の傾向ある等中限は早晚一波瀾ありそうな狀態である

阪地買米成立

某筋よりの入電によると阪地中先の兩限に對して兵庫筋買方より買米の交涉ありて一万四千餘石の成立を見たと

賣買差引殘

	賣方	買方
⑦	七三〇〇	五九〇〇
⑦	三〇〇〇	四一〇〇
⊖	二〇〇〇	二三〇〇
限	九〇〇〇	一九〇〇
九張	九〇〇〇	六〇〇〇
ス丸	八〇〇〇	五〇〇〇
丸大	六〇〇〇	三〇〇〇
金益	二〇〇〇	一〇〇〇〇

仁川期米

[illegible]

後場再び沸騰

▲第一節　當出來ず中三十一圓三十錢先二圓四十錢寄付

▲第二節　當三十一圓丁度中一圓二十錢先二圓三十五錢の寄止め

▲第三節　當中出來ず先三十三錢より四十三錢と返し四十一錢引

▲第四節　當中出來ず先四十五錢と始め大阪跡九圓臺の高移りに七十九錢と買進して引

▲第五節　當中出來ず先八十錢より七十八錢と押し八十九錢と持上げ八十八錢引

▲第六節　當出來ず中一圓七十錢先三圓〇二錢と新値に唱出して引

京城穀物

正米現物

高値は見送り狀態ながら期米高に先行き好望を唱へて手持筋は更に角買踏の姿なるを以つて人氣稍落付の裡にも底強く合格四等三十圓二三十錢地搗玄米改良上物三十八圓二十錢神力八圓處を唱へ前日に比し更に二三十錢の高氣配を示した

延

期米と現物の强硬に買氣嫌じに無碍には進まず利喰ひと新規弗々の買物にて無活氣ながら千石以上出來した

二月中限三十二二五▲二月末限三十二、六八、六五

大豆

期正米の續騰と新規注文や先物口の買進み等にて踏騰を追じた本品は手持筋の高値慕ひにて今朝は一段氣勢品まり水原三等十七圓三十錢長湍十七圓九十錢より八圓十錢處迄手合ひ行はれたる模樣にて鐵道積十八圓五十錢處の賣物にて龍山三三等は十八圓七十錢處の賣物ありとかなるも買人は二三十錢の下値を唱へ躊躇談行惱みの姿であつた

仁川正米

丸キ四等三十圓七十錢地搗玄米二十七圓二十錢粒上物八錢四五厘止來補八錢七厘見當にて小口取引行はれ賣物薄の姿である大豆は龍山十八圓三十錢長湍十八圓白川十七圓七八十錢見當を唱へられて居る

釜山正米

現物三十一圓一月中限三十一圓五十錢一月末限三十二圓二月中限三十一圓九十五錢より九十錢二月末限三十二圓三十二錢より四十錢出來高八千石

群山正米

現物三十一圓六十錢二月中限三十一圓六十八錢より九十三錢二月末限三十一圓九十五錢より二圓十八錢

大邱正米

現物三十一圓五十錢二月中限三十一圓八十七錢二月末限三十二圓より十七錢出來高一萬七千石

仁川期米

福

東京期米

[illegible]

大阪期米

[illegible]

兵庫期米

[illegible]

下關期米

[illegible]

桑名期米

[illegible]

大阪三品

[illegible]

御禮

廢んで復興第一年の新年を祝し奉り併而各位諸彥の御健康と御多祥を祈り奉り候

陳者弊店儀開業未だ日尚淺く微力なるにも不拘甚大なる御高庇を辱ふし業務隆昌に赴き幸にも大正十二年は仁取賣買取引高最高位を占め

壹等賞受領

の榮譽を贏ち得候事偏に顧客諸賢の深き同情御引立の賚に外ならず厚く御禮申上候尚ほ今後一層全員協力誠心誠意華客本位を旨として勉强努力致すべく候間倍舊御引立下され度右御禮旁伏而悃願奉り候　敬具

仁川米豆取引所仲買人

㋟ 仲買店

仁川海岸町

電話長 一〇六番 八三〇番 八五九番 三六番

薬

強壯劑第一 親切本位 在庫豐富 出荷迅速

合資會社 大黑南海堂

釜山辨天町一丁目

電話長四〇五 三七一

振替京城四五六

登錄商標 あみ櫻

大邱府東城町

棟居酒店

電話九

振替京城八七〇番

資本金六百萬圓

明治三十八年設立

當銀行ハ預金貸金爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城府南大門通一丁目十四番地

株式會社 漢城銀行

頭取 韓相龍

電話長光化門八〇五番

振替口座京城二二〇五番

支店所在地 水原・平壤・大田・開城・京城東大門・釜山

東京・大阪・京城西大門・大邱

出張所在地 東萊・平壤大和町・京城西大門・京城本町

瓦煉と火防

坪は 住宅 瓦煉
百圓前後で 出來ます

京城煉瓦共同販賣所

電・本・3161番

內科 眼科 小兒科

京城黃金町三丁目永樂町通り

本田病院

院長 本田建義

附屬 京城肛門病痔疾療院

入院隨意

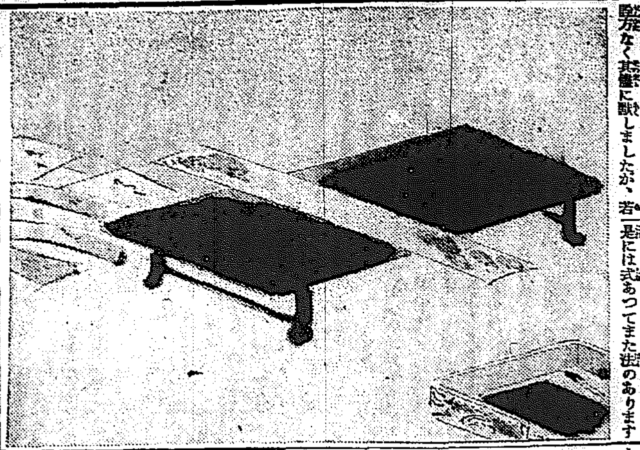
普通病室 隔離病室

電話 病院用本局 二二四三番 自宅用本局 二〇九八番

振替京城 一八番

鬼の面

多聞寺寶物



通俗太閤記
三百四十五回
松林伯知講演
加藤由太郎速記

藤吉は其傍に乘入り信長公のお旗を眺へて曰『恐れながら今日日向の有樣何となく物淋しの樣子、秀生の大丈夫とは見え兼ねます

七川手町二丁目
能治齒科醫院
電話三五〇番

全く其心中に一物ありてのこと、存じます、第一の嫌もござらば由々しき大事と存じまする、唯今の内に召捕つて御命仕るでござらう』信長公片頬に笑みを含み玉ひ『其心配は無用なり、彼昨日龜山、坂本二所を取上げると云ひたれば多分其事が心にありて躁動も平日に異るならんと思はる、一ト先づ中國に出陣させ敵の手を縛りて親ぼさんこと上々の策なり、捨て置け〳〵』と仰せられた、藤吉も是非なく其儘に默しましたが、若

臆なき體には腸を架け、武者揃の妨げなきやういたし置けよ』と一々下知相濟んで諸大將は一先づ丹波龜山に引揚げました、此方は僅五十人ばかりの供人、有名の武士には東野六郎兵衞、比田帶刀の二人を召具し愛宕山威徳院に登山に及びました、扨て一時ばかり前に使者を以て沙汰いたしてありますから重々饗應怠らず、召集めた

京城郵便局左側（サクラバー北側）
ドクトル 三品齒科醫院
電話本局一五〇七番

る花本宗匠、中にも里村紹巴、兼如、心前遊佐、宥瀬、昌咜、行祐等何れも御目通り相濟んで是より連歌になりました、文臺には東野六郎兵衞著座いたし、風流の道は貴もなし賤もなし皆一つ所へ通座して硯を取り硯を引寄せまする、是には式あつてまた法のあります

し藤吉の申す如くせば右大臣家の御安泰も御無事であるべきでござりました、茲を以て考へると藤吉は容易ならぬ人物であつたのでせう、扨其日一同御暇を戴き退城に及びます、中にも日向守は斯くなつては一日も早く行はんとあつて丹波龜山に於て軍勢催促、直に中國表に發向の由御披露申上げて下城しまして、翌日御家來を引連れて安土城外の館を出立に及び、一先づ京都に上り、夫より愛宕山に行かんとせしが愛宕山の麓に參り馬を止め、鞍大將に申出だしたには光『さて此度出陣の首途と云ひ誠に大切の場合である、武運長久の爲め祈念に參る愛宕山、殊に今日は二十四日、御命日たれば是れより愛宕山に參山に及び西の坊威德院行遊に祈念を籠み猶ひ高名の歌人花本宗匠を呼び集め百韻の連歌に及ぶなり、其方共は本陣迄より龜山に引取り軍勢配備に及び徃き行くを待つべし、疾き處は明證

御鄕黨代にり、聞食に
〇東新 ラスク 半斤入一函 三十五錢
明治町木村屋（電本二八七〇）

るもの、其第一は光秀これを立句といたします
時はいま天が下しる五月かな
此時西の坊行祐脇を附けましたのは
みなかみまさる庭の夏山
時に里村紹巴取つて明智の句の意味を考へましたが『天が下しる』といふのはどうも言ひ廻しが不思議だ、夫れとも本心はイザ知らず若し心中に叛逆の企てでもあらば

京城明治町二丁目
中央婦人科院
院主 衣笠茂
電話三三四〇番

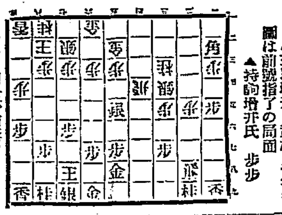
意見をしても止めんものと、兩讃兼ねて第三を附けました
花落つる流れの末を堰止めて
これは紹巴であります、唖間のない者々には何だか分りませんが、若し何か思ひ立たせ玉ふことがあるならば夫れはお止し遊ばせといふ意味の句だ
風は霞を吹送る暮
宥もなほ鐘の響きや冴ぬらん　友巖

これは昌咜といふ人の歌、兼如が跡を附けた句に
かたしく袖にありあけの霜
など、段々やつて行く百韻と云つては暇らず申上げられませぬから

入參エキス 純蔘精
佐野高麗人蔘製藥所
京城府黄金町三丁目（交番前）
電話六七六番振替京城四一三六

表入句だけを申しますが、愈々百韻目の上の句が
色も香も醉をすゝむる花の下　行祐
光秀の上句が
くに〳〵はなほ長閑なる時
と、納め終りに時と云ふ字が使つてある、百韻連歌の上下に時といふ字を使つてあるのは實に不思議士岐は明智の本姓であります、時の時と土岐とは違ひますけれども音は同じことで『天が下しる』といへば天下をしろし召すといふ意味、然らば天下は最早我ものなりと云はぬばかりの所でございます

將棋新手合（三）
香落　△五段金子金五郎（東京）
▲三段增井武雄（東京）
圖は前號指了の局面
▲持駒增井氏 歩歩



（金子氏持駒）▽
△七四飛▲四四步△四五銀▲二二角△四二步▲六五馬△八四飛▲一四步（へ）△同步▲同香△五四步▲六六銀△五五步（ト）▲同馬△五四銀▲五六馬△五五步（チ）▲同銀△同銀▲同馬（以下次號）
▲（へ）一四步は緩漫なり七五馬と行て飛將を取る方優れり
△（ト）五五步と擱きたるは面白し
△（チ）五五步打ち早し三六步と突きて敵の應手を試みる處なり

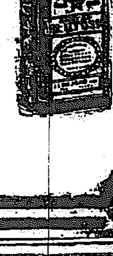
一月十一日
（舊曆十二月六日）
▲八白▲暗劍丑寅▲金曜
▲己丑▲大安▲鬼宿
▼八白▲迂濶に事を運ぶへ間違ひを生じ易い日也自重肝要乾と東が吉
▼九紫▲持て餘した問題も譯なく解決する日進む程有利南と北が吉
▼一白▲念には念を入れ進まないと思はぬ損をする巽と南と北が吉
▼二黒▲何事も圓滿にはかどるが大利は望まれぬ日乾と東と巽が吉
▼三碧▲位許り高くて足元の危さを感ずるの日なり西と乾と壬が吉
▼四緑▲内輪に行ひ利進み過ぎては損也散財に注意西と乾と癸が吉
▼五黄▲穏かな日正いことはどし〳〵と行ひ上首尾乾と東と巽が吉
▼六白▲目上の人の同情を得出世の緒に就く吉日巽と壬と癸が吉
▼七赤▲焦燥つては事を大損じる大口商取引は見合せ東と壬と癸吉

關釜連絡船
發 午前十一時 午後九時三十分
十日 朝、德壽丸 夜、昌慶丸
十一日 朝、德壽丸 夜、昌慶丸
十二日 朝、德壽丸 夜、昌慶丸

一杯！
と聞いて尻込する客も
赤玉の一杯と聞いて立直る＝赤玉はムダな手數と時間とを費さぬ酒だから

赤玉ポートワイン

虚弱者の強健化と
健康者の精力增進



三大特長
一 芳香美味良藥にして口に快し。
二 絶對に胃腸を害せず食慾を增進す。
三 速かに吸收され血を增し肉を肥やす。
故に貧血諸病、病後の衰弱、虚弱者、神經衰弱、姙婦、産後、乳母、身神過勞、虚弱兒童等に適し無病の者は榮養を增し精力を強くす。

正しき補血強壯增進劑
ブルトーゼ

種類及適應症
ブルトーゼには各病症に適應する下記五種類あり宜しく其の一を選擇用あらん事を
補血強壯增進劑 單味ブルトーゼ
神經質疾患特效劑 アルゼンブルトーゼ
腺病質特効劑 ヨードブルトーゼ
健胃補血強壯劑 キナブルトーゼ
呼吸器系疾患特効劑 グアヤコールブルトーゼ

●販賣者の注意 アルゼンブルトーゼに限り法規に依る買受證を徴せらるべし

發賣元

大阪市道修町二丁目（振替大阪一七四一番）
本舖 藤澤友吉商店
東京支店 東京市日本橋區伊勢町二六
京城支店 京城府西小門町四一
滿洲代理店 大連市浪速町（柳本藥滿會社）

發賣 各地藥店
說明書進呈

一番よくきく
アレ止は
クラブ美身クリーム

一番早い道

一 胃腸病者の執る可き道!! 簡にして明瞭です。それは「ホシ胃腸藥」を服用なさいと云ふ事であります。
二 ホシ胃腸藥は天下有名の胃腸治療藥であります。又この藥をお選びなさることが、一番早く治する道であります。
三 物は試しと云ふ言葉があります。然し左樣ひたくはありませぬ。「必ずお服みなさい」と明白した言葉でお奬め致します。
四 服用後のお喜びの樣が目に見える樣です。どんなに感謝される事か。
五 その樣を見ては、此の藥を作つた星製藥も「それ御覽なさい」と微笑まずには居られませぬ。さ、どうぞ召上つて下さい。

定價 廿錢 五十錢 一圓 二圓

資本金五千萬圓
星製藥株式會社
◇東京大崎◇